

2018 年度「環境に関する市民意識調査」

— 調査結果報告書 —

2019 年3月

仙 台 市

＜目次＞

頁

I	調査概要.....	3
1	調査の目的.....	3
2	調査期間.....	3
3	調査対象.....	3
4	調査方法.....	3
5	調査内容.....	3
6	回収数.....	3
7	特記事項.....	4
II	回答者の属性.....	5
III	調査結果.....	6
1	単純集計.....	6
	(1) 仙台市の環境に関する満足度について.....	6
	(2) 日常生活における環境配慮行動について.....	8
	(3) 自然環境の保全について.....	13
	(4) 地球温暖化対策について.....	15
	(5) 環境学習について.....	16
	(6) 仙台市の環境施策について.....	17
	(7) 仙台市の環境行政へのご意見等について（自由意見）.....	19
2	クロス集計.....	21
	(1) 仙台市の環境に関する満足度について.....	21
	(2) 日常生活における環境配慮行動について.....	27
	(3) 自然環境の保全について.....	44
	(4) 地球温暖化対策について.....	48
3	過年度調査との比較.....	52
IV	調査票.....	54

I

I 調査概要

1 調査の目的

2011年3月に策定した仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）（計画期間：2011年度から2020年度）の進捗について評価を行うとともに、次期環境プラン策定に向けた基礎資料とするため、アンケート調査を通じて、環境に関する市民の意識等を把握する。

2 調査期間

2019年1月9日（水）～2019年1月25日（金）

※2019年2月14日（木）まで回収された調査票を集計の対象とした。

3 調査対象

市民アンケート：満18歳以上の市民3,000人

（2018年12月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出）

中学生アンケート：市内中学校25校の2年生 757人

（2010年に調査を実施した学校を対象とし、各校1クラスを選定）

4 調査方法

市民アンケート：無記名式の質問紙調査。郵送による配布・回収

中学生アンケート：無記名式の質問紙調査。中学校の各クラスを通じて直接配布・回収

5 調査内容

市民アンケート

仙台市の環境に関する満足度、日常生活における環境配慮行動、自然環境の保全、地球温暖化対策についてなど、全7問（選択式、一部自由記載）

中学生アンケート

仙台市の環境に対する満足度、日常生活における環境配慮行動、環境学習に関する興味など、全5問（選択式、一部自由記載）

（詳細は、Ⅲ調査票を参照）

6 回収数

市民アンケート：1,338人（回収率44.6%）

中学生アンケート：697人（回収率92.1%）

7 特記事項

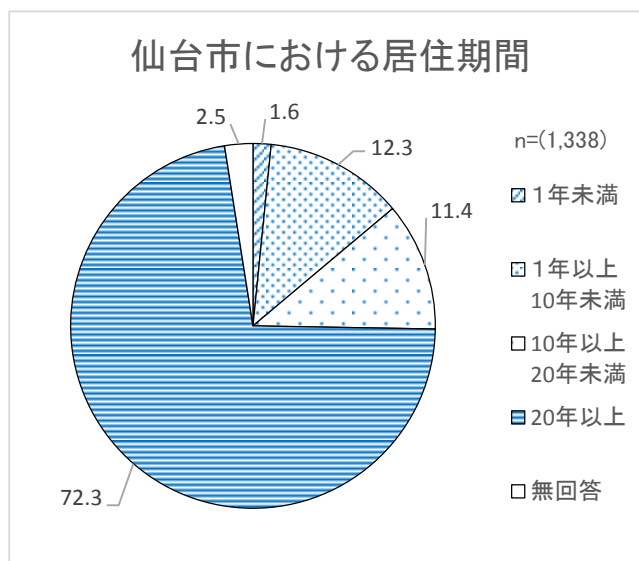
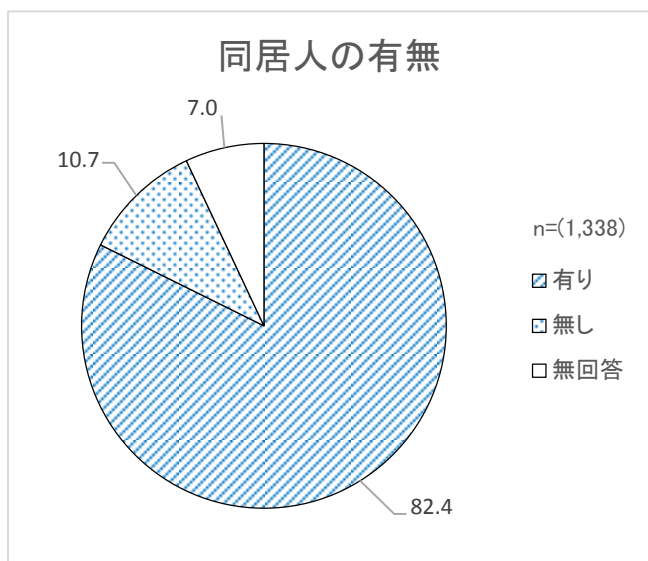
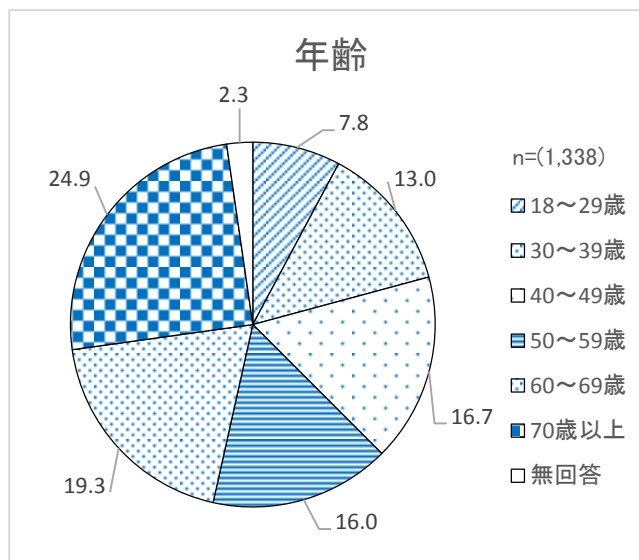
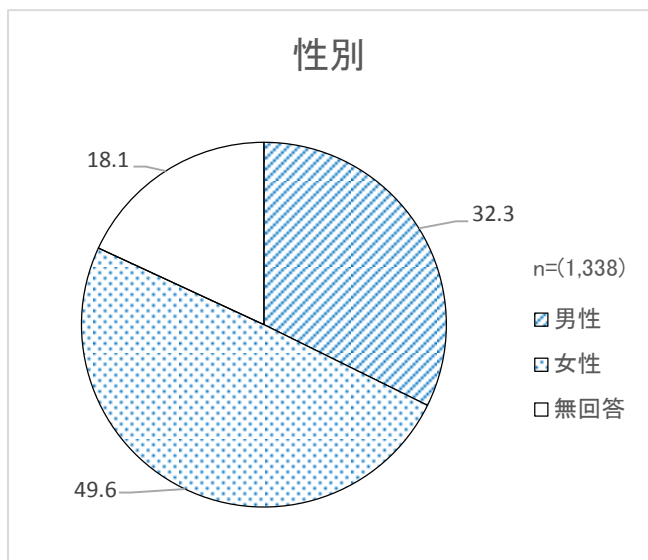
- (1) 調査結果に示す調査数（ $n = \text{number of cases}$ ）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 本調査のうち、「仙台市の環境に関する満足度」及び「日常生活における環境配慮行動」については、2008年度の調査結果と比較することにより、「杜の都環境プラン」の定量目標の進捗について評価を行う。

しかしながら、2008年度の調査から10年が経過し、ライフスタイルを取り巻く状況の変化等により、現状にそぐわない設問がみられること、また、今回実施する調査は、次期環境プランにおける管理指標のベースとなり得ることから、本調査を実施するにあたり、2008年度の調査から設問の内容を見直した。

なお、環境プランの定量目標の評価にあたっては、2008年度から継続して調査する設問により比較を行う。

II 回答者の属性

回答者の属性は、以下のとおりである。なお、回答者の属性は、市民アンケートのみ把握した。



Ⅲ 調査結果

1 単純集計

(1) 仙台市の環境に関する満足度について

【市民・中学生アンケート】

問1 あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。

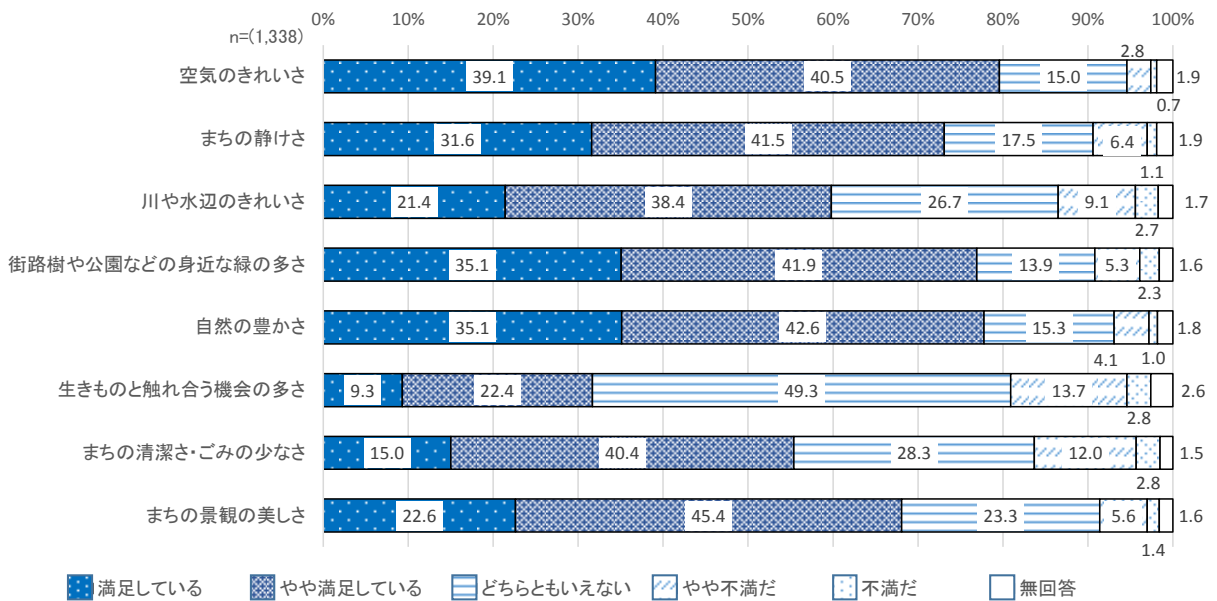
(各項目に1つだけ○)

市民、中学生ともに、ほとんどの項目で「満足している」又は「やや満足している」と回答した人の割合が高い。

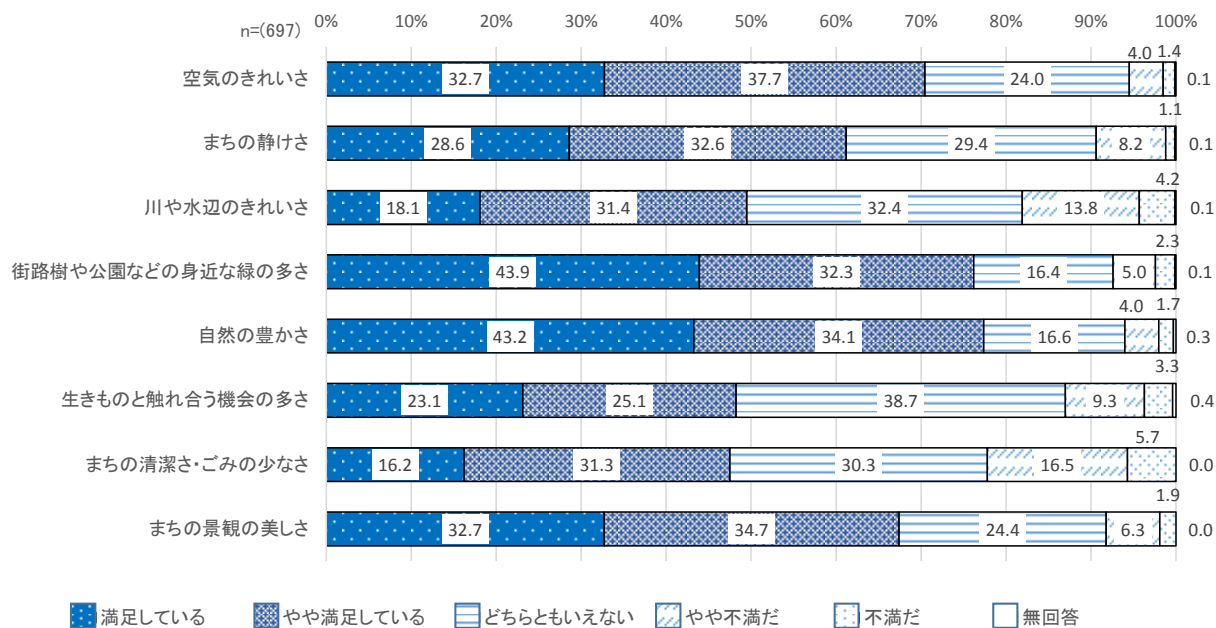
特に「空気のきれいさ」、「街路樹や公園などの身近な緑の多さ」、「自然の豊かさ」の項目では、77.0～79.6%の人が「満足している」又は「やや満足している」と回答している。

「生きものと触れ合う機会の多さ」について、「満足している」又は「やや満足している」と回答した市民の割合は31.7%であったのに対し、中学生は48.2%と、市民に比べて16.5ポイント高い。

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



(2) 日常生活における環境配慮行動について

【市民・中学生アンケート】

問2 あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。

(各項目に1つだけ○)

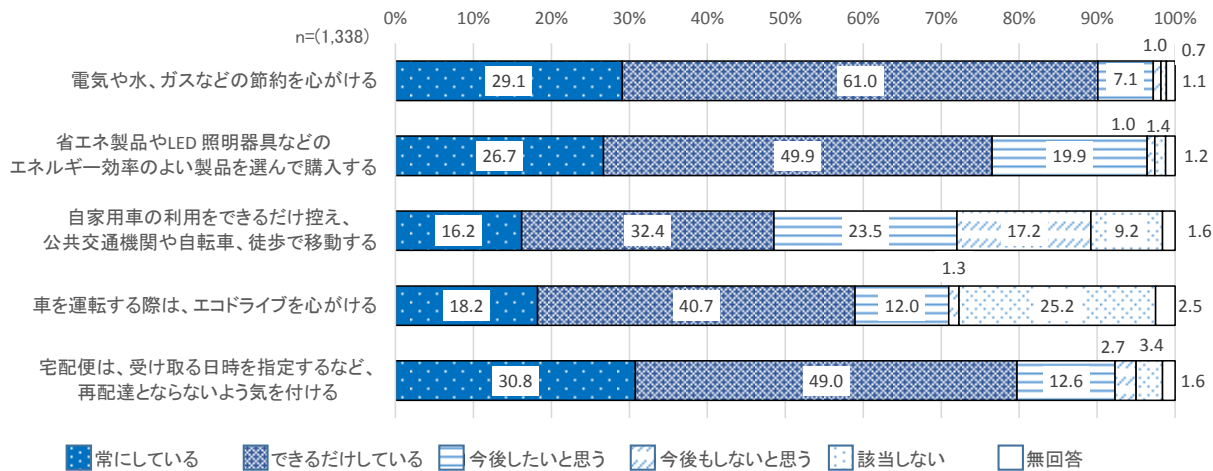
① 地球温暖化防止に配慮した行動について（家庭内や外出先での行動）

「電気や水、ガスなどの節約を心がける」について、「常にしている」又は「できるだけしている」と回答した市民の割合は90.1%、中学生は88.1%と高く、日常生活における省エネ行動は一定程度、浸透していると考えられる。

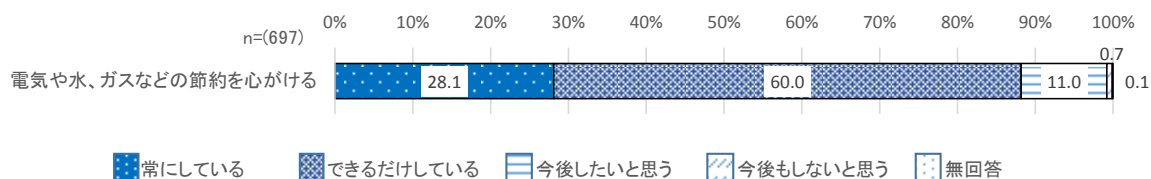
近年、宅配便の再配達が社会問題となっているものの、「宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける」について、「常にしている」又は「できるだけしている」と回答した市民の割合は79.8%と高い。

一方、「車を運転する際は、エコドライブを心がける」、「自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する」について、「常にしている」又は「できるだけしている」と回答した市民の割合は、それぞれ48.6%、58.9%と、他の項目に比べてやや低い値となっており、今後さらなる周知啓発が必要である。

【市民アンケート】



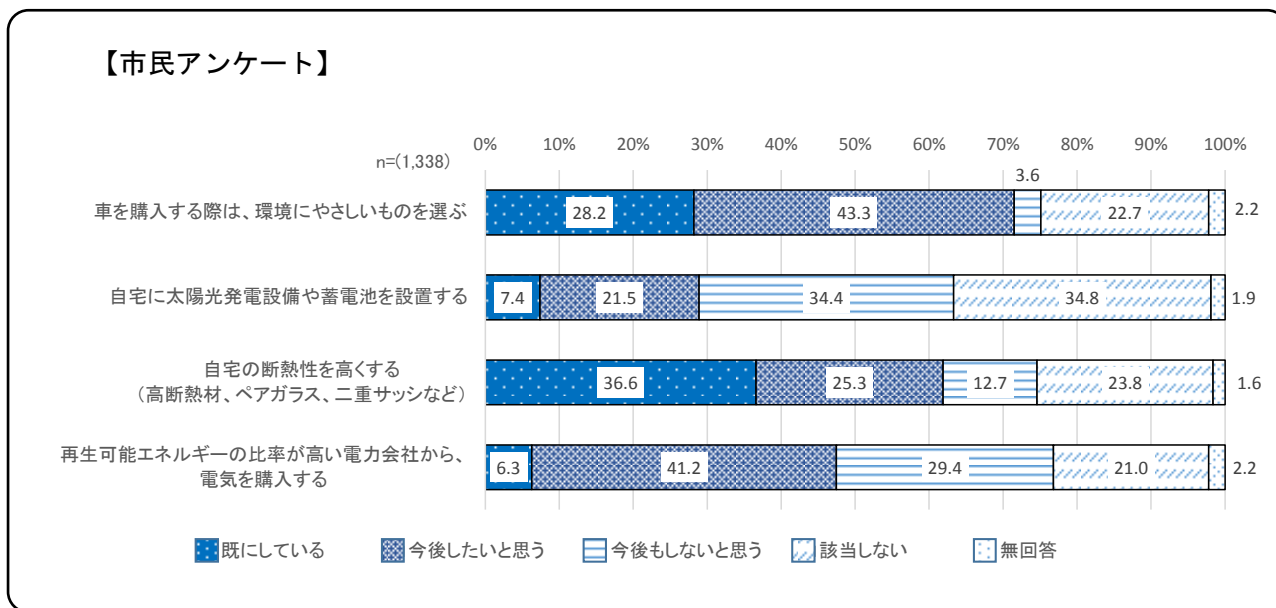
【中学生アンケート】



② 地球温暖化防止に配慮した行動について（車の購入や住まいに関する行動）

「車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ」について、「既になっている」又は「今後したいと思う」と回答した市民の割合が71.5%であるのに対し、「今後もしないと思う」と回答した市民の割合は3.6%に留まり、意識の高さがうかがえる。

「再生可能エネルギーの比率が高い電力会社から、電気を購入する」について、「既になっている」と回答した市民の割合は6.3%と低いが、「今後したいと思う」は41.2%と高く、市民の関心は比較的高いと考えられる。



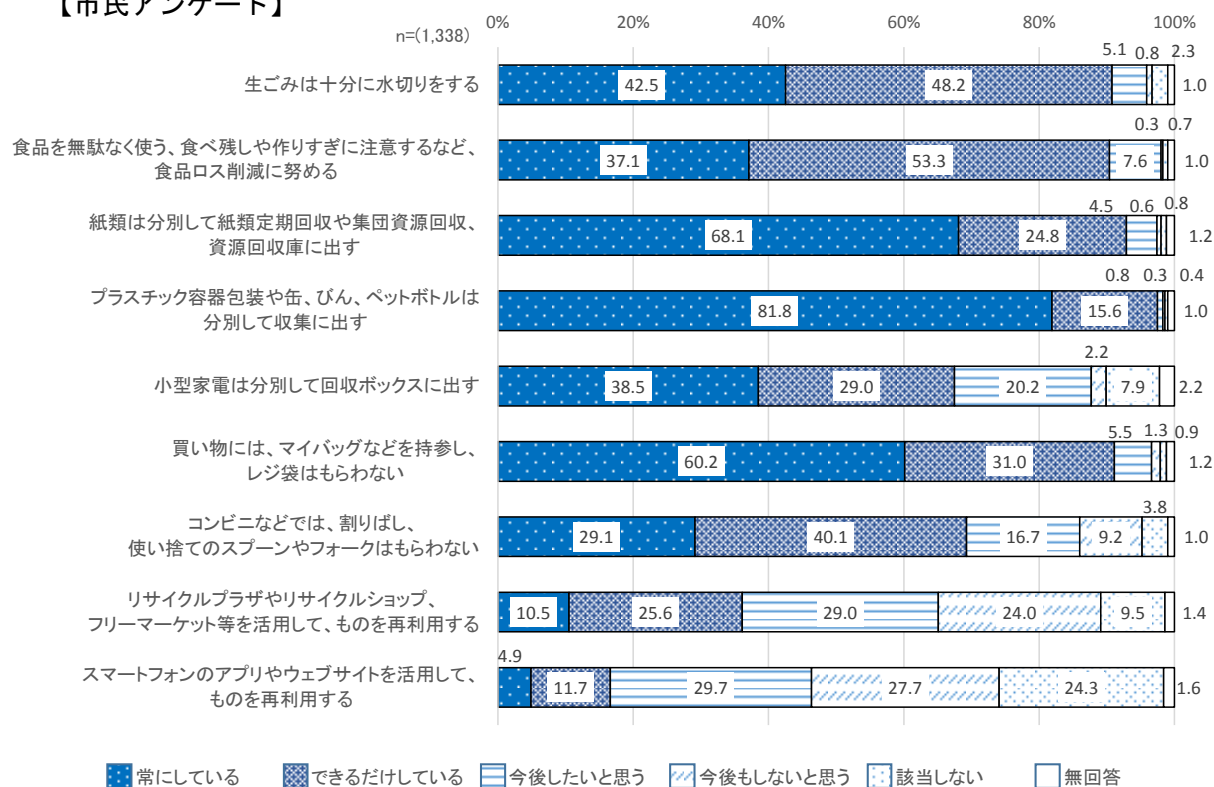
③ ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動について

「生ごみは十分に水切りをする」、「食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める」、「紙類は分別して紙類定期回収等に出す」、「プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す」、「買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない」の5項目について、90.4～97.4%の市民が「常にしている」又は「できるだけしている」と回答するなど、市民の日常生活におけるごみの減量やリサイクルの意識は高いと考えられる。

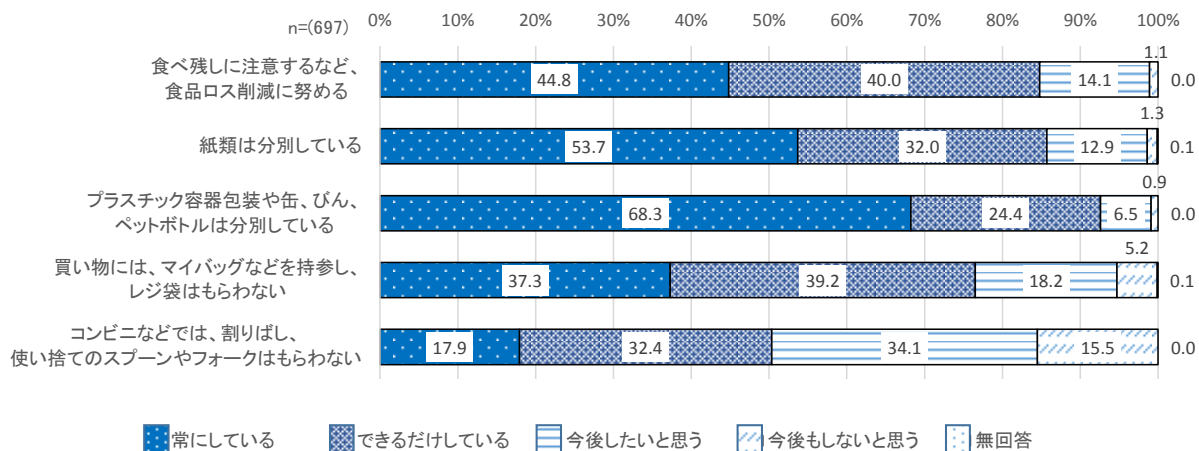
また、中学生においても、「食べ残しに注意するなど、食品ロス削減に努める」、「紙類は分別している」、「プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別している」について、84.8～92.7%が実践している。なお、「買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない」については76.5%が実践しているものの、市民の91.2%に比べて14.7ポイント低い。

ものを再利用する“リユース”に関する項目については、他の項目に比べて実践する市民の割合が低い。特にアプリやウェブサイトを活用したリユースは「該当しない」と回答した市民が多いため、多くの方が取り組みやすいリユース行動の促進に向けた取り組みが求められる。

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



Ⅲ 調査結果

④ 自然環境の保全に配慮した行動について

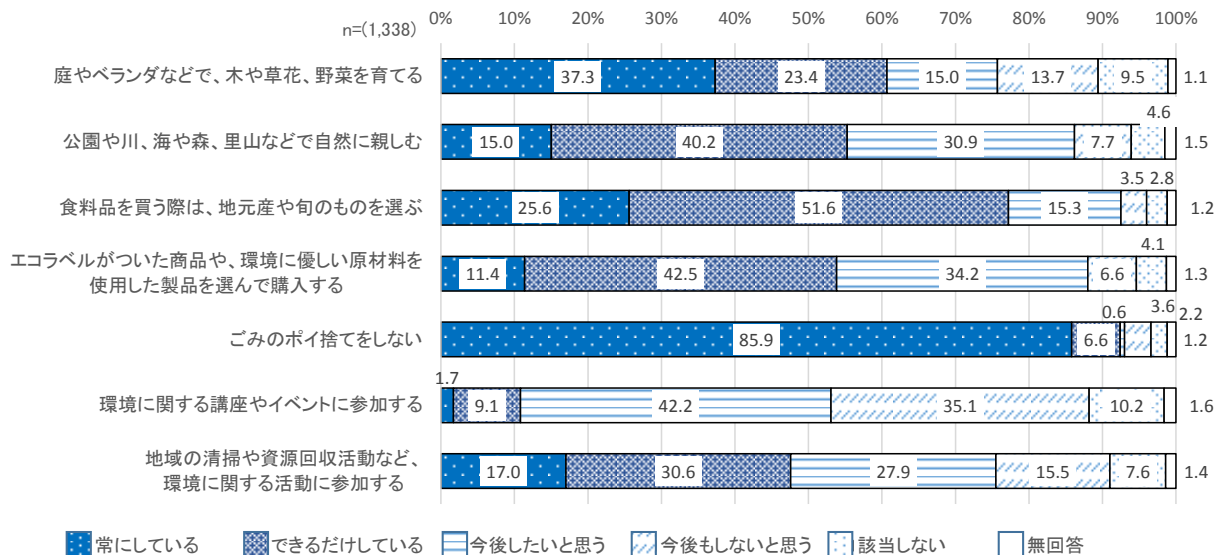
「ごみのポイ捨てをしない」については、市民の 85.9%、中学生の 77.9%が「常に行っている」と回答している。

「食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ」について、77.2%の市民が「常に行っている」又は「できるだけしている」と回答しており、地産地消に対する関心の高さがうかがえる。

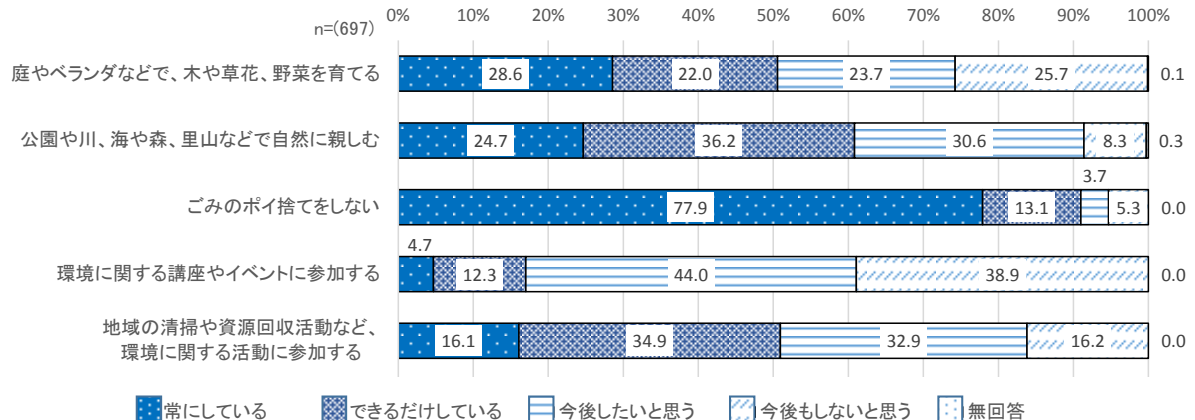
「木や草花、野菜を育てる」や「公園や川、里山などで自然に親しむ」の直接自然と触れ合う項目については、市民、中学生の約 60%が実践しているが、市民の自然に対する関心や理解を高めるためにも、今後、さらなる向上が望まれる。

「環境に関する講座やイベントに参加する」については、「常に行っている」と回答した市民の割合は 1.7%、中学生は 4.7%と低い。ただし、「今後したいと思う」と回答した市民及び中学生の割合はそれぞれ 42.2%、44.0%となっており、関心は高いと考えられることから、今後、市民や中学生が参加しやすい講座等の企画や、周知広報が求められる。

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



(3) 自然環境の保全について

【市民アンケート】

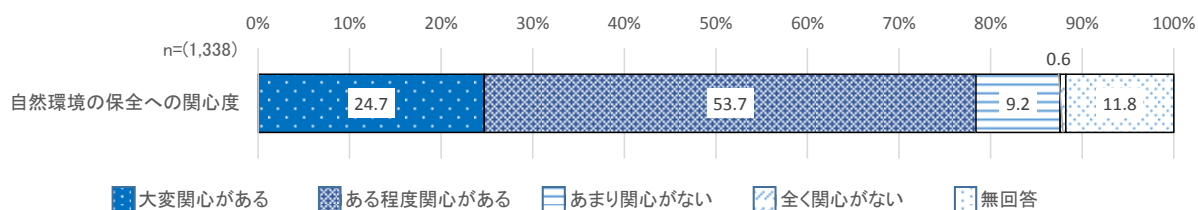
問3 仙台市は、市域全体の約8割が緑に覆われるなど、豊かな自然環境に恵まれ、多様な生きものが生息しています。

あなたは、自然環境の保全に関心がありますか。

(1つだけ○)

自然環境の保全について、78.4%の市民が「大変関心がある」又は「ある程度関心がある」と回答しており、関心の高さがうかがえる。

【市民アンケート】



Ⅲ 調査結果

【市民アンケート】

問4 人間も含め、地球上の様々な生きものが、お互いつながり支え合いながら生きていることを「生物多様性」と言います。近年、メダカやトンボなど身近な生きものが減少するなど、生物多様性の低下が問題となっています。

生物多様性を保全するため、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

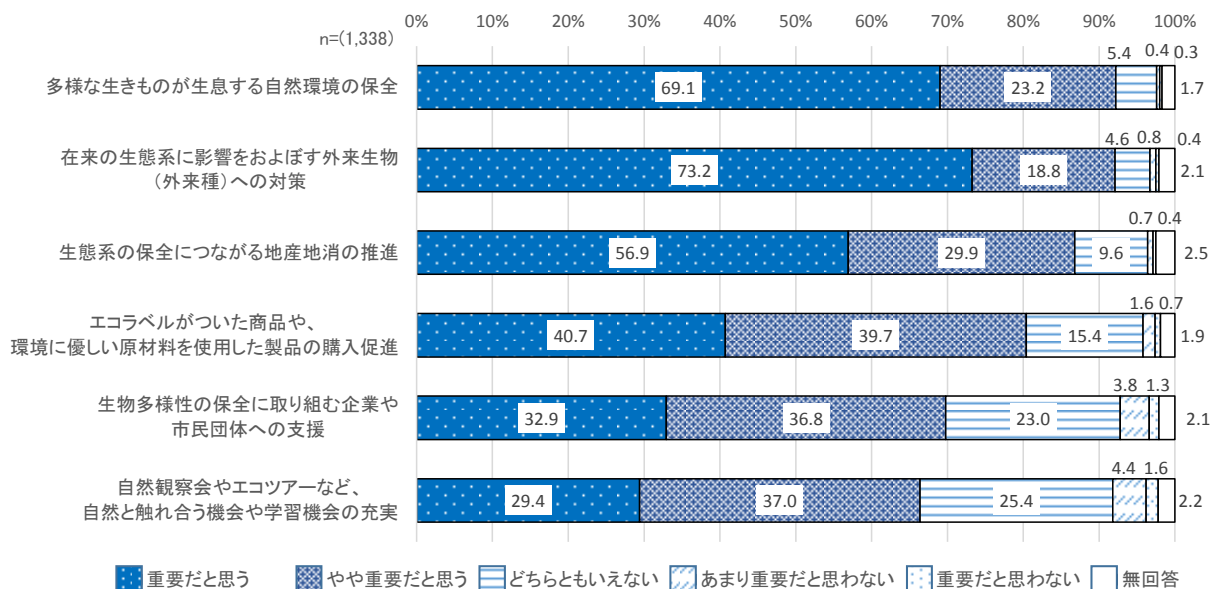
(各項目に1つだけ○)

いずれの取り組みに関しても、60%以上の市民が「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答しており、生物多様性保全の取り組みを重視していることが伺えた。

特に、「多様な生きものが生息する自然環境の保全」や「生態系に影響を及ぼす外来生物への対策」については、92.0～92.3%と高い。

また、「生態系の保全につながる地産地消の推進」を重視する市民も多く、「(2)日常生活における環境配慮行動について ④自然環境の保全に配慮した行動について(10p)」と同様に、地産地消に対する関心の高さがうかがえる。

【市民アンケート】



(4) 地球温暖化対策について

【市民アンケート】

問5 地球温暖化対策として、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を減らすとともに、温暖化によって引き起こされる猛暑や豪雨などへの対策が求められています。

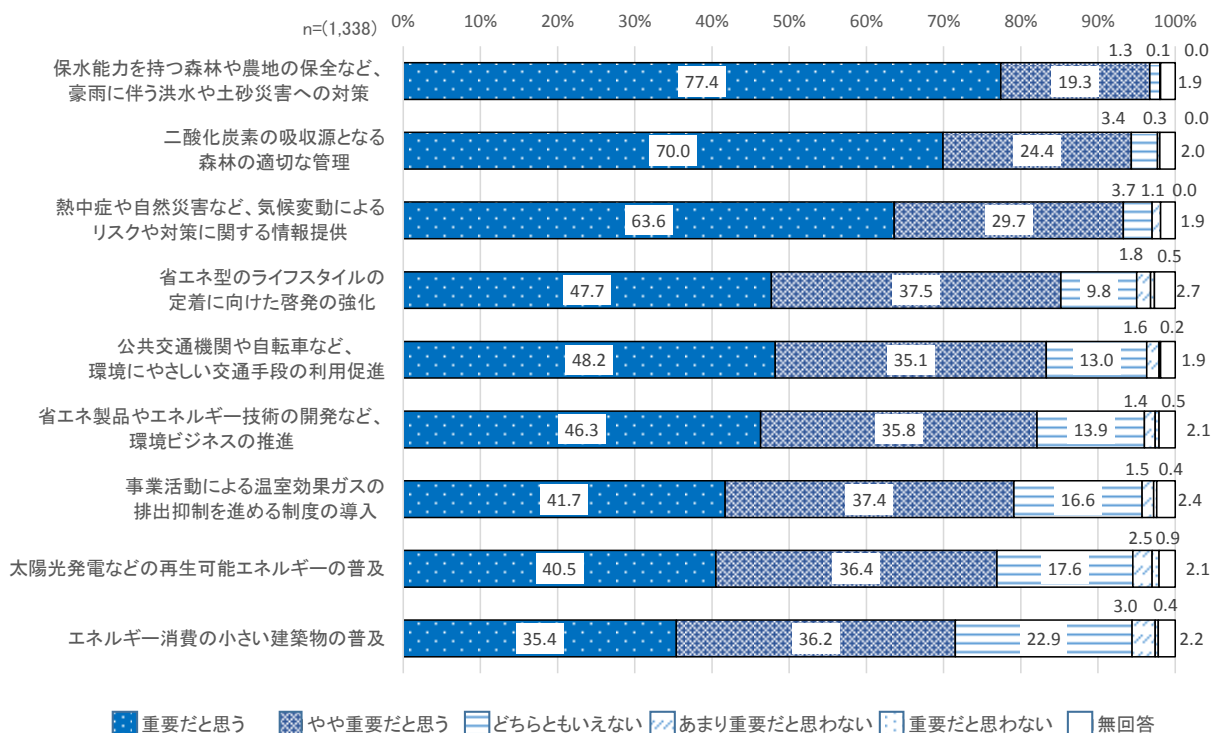
仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

(各項目に1つだけ○)

いずれの取り組みに関しても、「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答した人の割合が70%を超え、地球温暖化対策の取り組みを重視していることがうかがえる。

特に、「保水能力を持つ森林の保全など、洪水や土砂災害対策」や「気候変動によるリスクや対策に関する情報提供」については、それぞれ93.3%、96.7%の市民が「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答しており、近年の自然災害の増加などを踏まえ、気候変動への「適応策」に関する取り組みを重視する市民が多いと考えられる。

【市民アンケート】



(5) 環境学習について

【中学生アンケート】

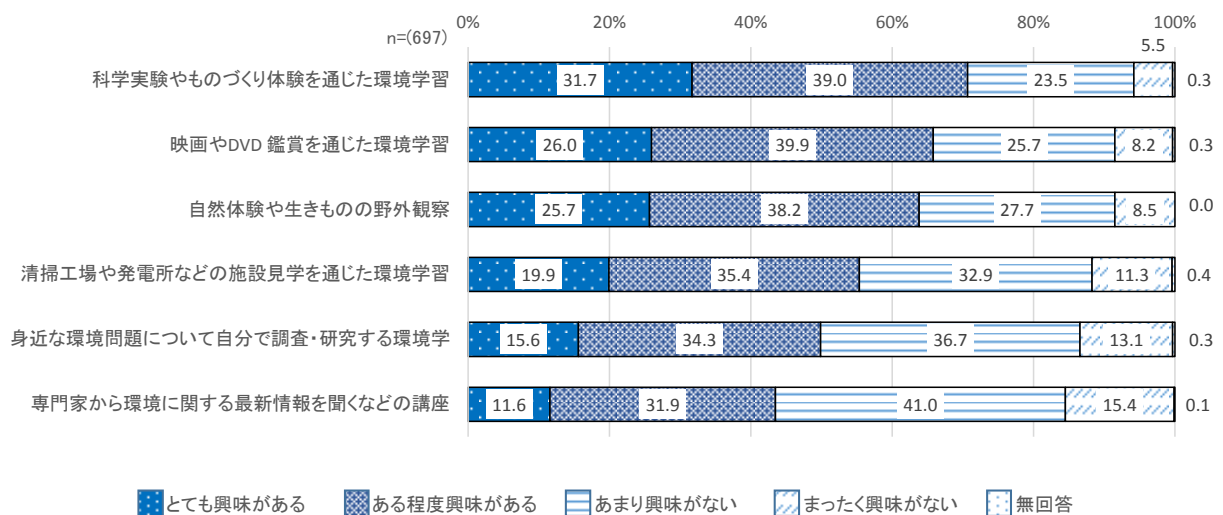
問3 あなたは、次の環境学習に興味がありますか。

(各項目に1つだけ○)

「科学実験やものづくり体験を通じた環境学習」や「自然体験や生きものの野外観察」について、「とても興味がある」又は「ある程度興味がある」と回答した中学生は、それぞれ70.7%、63.9%と高く、体験型の環境学習に興味が高いことがうかがえる。

一方、「映画やDVD鑑賞を通じた環境学習」に対して興味があるとの回答も60%を超えており、屋内で自分の都合のよい時間に気軽に学べる学習方法を推進することも有効である。

【中学生アンケート】



(6) 仙台市の環境施策について

【市民アンケート】

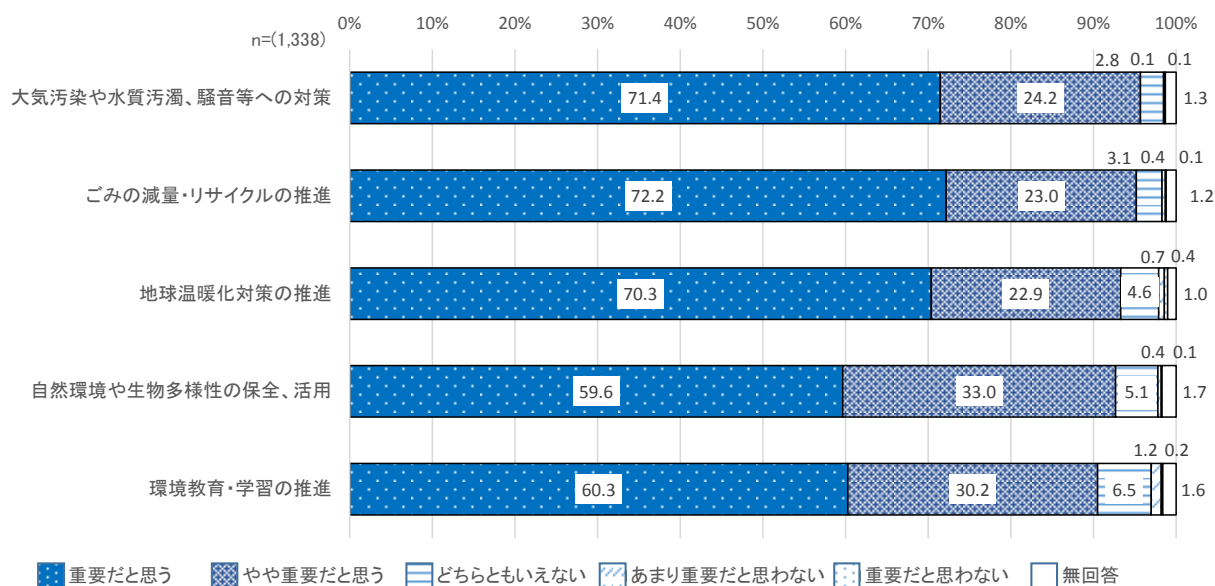
問6 今後仙台市が取り組む環境施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

(各項目に1つだけ○)

いずれの項目についても、90%以上の市民が「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答している。

「大気汚染や水質汚濁、騒音等への対策」が95.6%で最も多く、次いで「ごみの減量・リサイクルの推進」の95.2%となっており、日常生活に関わりの深い身近な環境問題をより重視していることがうかがえる。

【市民アンケート】



Ⅲ 調査結果

【中学生アンケート】

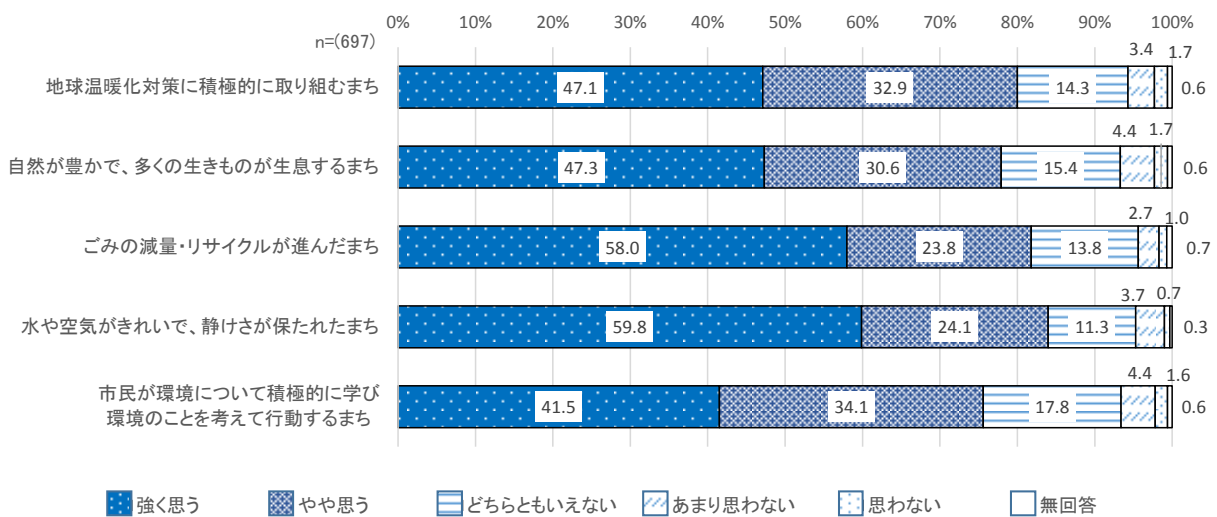
問4 あなたは、将来、仙台市は環境面でどのようなまちになったら良いと思いますか。

(各項目に1つだけ○)

いずれの項目についても、約80%の中学生が「強く思う」又は「やや思う」と回答しており、将来の環境への関心の高さがうかがえた。

「水や空気がきれいで、静けさが保たれたまち」が83.9%で最も多く、次いで「ごみの減量・リサイクルが進んだまち」の81.8%となっており、今後仙台市が取り組む環境施策として市民が重視するものと同様の結果となった。

【中学生アンケート】



(7) 仙台市の環境行政へのご意見等について（自由意見）

【市民アンケート】

問7 仙台市の環境行政に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【中学生アンケート】

問5 仙台市の環境について考えていることがあれば、ご自由にお書きください。

自由意見についての回答者数は 547 人（市民アンケート 386 人、中学生アンケート 161 人）、意見数は延べ 726 件（市民アンケート 531 件、中学生アンケート 195 件）であった。

意見の内容に応じて項目ごとに分類した結果は、以下のとおりである。

意見分類		意見数(件)		主な意見の概要
		市民アンケート	中学生アンケート	
地球温暖化対策	環境負荷の小さい交通手段の推進	33	1	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の運賃や路線、便数等の見直しが必要 自転車が行きやすい環境整備や自転車マナーの啓発が必要 郊外部は自家用車がないと生活できない
	再生可能エネルギーの普及	14	0	<ul style="list-style-type: none"> 屋根や屋上への太陽光パネル設置を促進すべき 森林を開発して設置する太陽光発電はエコではない
	省エネ行動の推進	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 省エネを呼びかけるだけでは行動につながらない エネルギーの無駄な消費を抑えるべき
	気候変動による影響やリスクへの対策	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 豪雨や土砂災害、熱中症などへの対応が必要
	その他	9	4	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化対策は企業の協力も必要 温暖化対策は非常に重要
自然環境・生物多様性	豊かな自然環境や生物多様性の保全	42	26	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな仙台の環境を残したい 生物の保全を推進すべき 自然や生きものが減っている 山林や農地等の緑地の開発抑制が必要
	公園・街路樹などの身近なみどり	52	25	<ul style="list-style-type: none"> 仙台は緑が豊かで住みやすい もっと街中に木を植えて欲しい 公園や街路樹が減っている 安全面や景観面から公園や街路樹の管理をきちんとして欲しい 杜の都と言うが、自然が豊かだとは思わない
	自然や生きものとのふれあい	15	8	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が自然に触れ合える機会を増やして欲しい 安全に遊べる川や自然が豊かな公園を整備して欲しい 自然と触れ合える場所が少ない
	野生鳥獣対策	8	1	<ul style="list-style-type: none"> クマやイノシシなどの被害防止の取り組みを推進して欲しい 防除柵や追い払いだけでなく、個体数を減らす取り組みも必要
	その他	7	4	<ul style="list-style-type: none"> 外来種への対策が必要 伐採木の有効活用（販路等）の推進が重要 緑化により虫が増えるのは困る

Ⅲ 調査結果

意見分類		意見数(件)		主な意見の概要
		市民アンケート	中学生アンケート	
ごみ減量・リサイクル	ごみの減量・分別の啓発	33	4	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者・外国の方への分別ルールの徹底が必要 ・ペーパーレス化の推進など、紙ごみを出さない対策が必要 ・レジ袋の配布禁止など、プラごみを出さない対策が必要 ・一人ひとりが、問題意識を持てるようにする必要がある ・ごみの分別ルールが細かくて大変 ・生ごみの堆肥化を推進するべき
	ごみ出しルールの徹底・ごみ集積所の管理	29	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しルールを守らない人が多い ・ごみ集積所のカラス対策が必要 ・地域と関わりの少ない若者や転入者へのごみ出しルールの徹底が必要
	ポイ捨て・不法投棄対策	37	54	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコのポイ捨てが多い ・仙台駅の周辺など、人が集まる場所のポイ捨て対策が必要 ・山や川などでのポイ捨て対策をして欲しい ・通学路にたくさんごみが落ちている
	ごみ収集のあり方	20	0	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみの回収日を設けて欲しい ・小型家電の収集場所が少ない ・事業ごみについても分別ルールを設けるべきではないか
	その他	17	4	<ul style="list-style-type: none"> ・分別したごみがどのように処理されているのか、分かりやすい周知が必要 ・トレイや牛乳パックなどの回収ボックスを増やして欲しい ・ごみ拾いやリサイクル行動について経済的インセンティブがあると良い
快適な生活環境	大気環境の保全	13	14	<ul style="list-style-type: none"> ・バスやバイクの騒音や排気ガスが迷惑である ・大気に悪影響を及ぼす施設の建設には慎重に対応して欲しい
	水環境の保全	9	5	<ul style="list-style-type: none"> ・河川を清流にしたい ・全ての場所での下水道整備
	景観の保全	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・高層ビルや店舗の看板等の景観への影響への対策が必要 ・きれいな街並みを維持して欲しい
	その他	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季に使用する融雪剤を環境に優しいものにするべき ・光害や悪臭への対策を推進して欲しい
環境教育・学習	子どもの環境教育・学習の推進	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境意識の啓発は小さい時の教育が大切だと思う ・学校や学童での教育を充実させてほしい
	その他の環境教育・学習の推進	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や企業を巻き込んだキャンペーンが重要 ・環境に関心がない人への啓発が重要 ・環境問題は一人ひとりが自分ごととして感じられるようになることが重要
	情報提供の充実	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・CMや新聞などを活用し、情報発信を充実させるべき ・ホームページを閲覧できない人への配慮を忘れないで欲しい
	その他	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・昔より環境への意識は向上していると思う ・みなさんと協力して頑張りましょう
環境全般に係ること		58	11	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも杜の都の環境を維持してほしい ・環境行政が何をしているのか、よく分からない ・市民の声を環境行政に反映させて欲しい ・アンケートをきっかけに環境問題を考えて
その他市政に対する意見など		71	9	<ul style="list-style-type: none"> ・水道民営化に反対 ・交通安全対策をもっと進めるべき
計		531	195	

2 クロス集計

市民アンケートの結果について、性別や年齢など回答者の属性や、関連が深い設問においてクロス集計を行った。

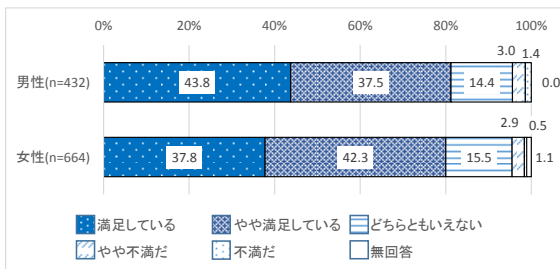
(1) 仙台市の環境に関する満足度について（問1）

【環境に関する満足度×性別】

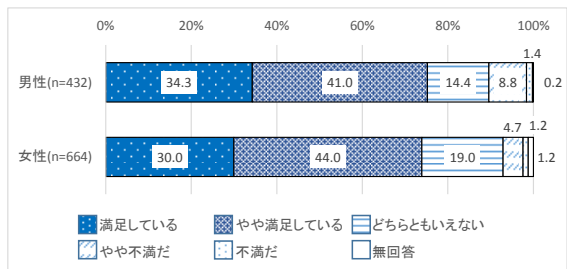
いずれの項目も、「満足している」又は「やや満足している」と回答した人の割合について、男女による大きな差は見られない。

なお、「①空気のきれいさ」について、「満足している」と回答した男性の割合は43.8%と、女性の37.8%に比べて6.0ポイント高い。

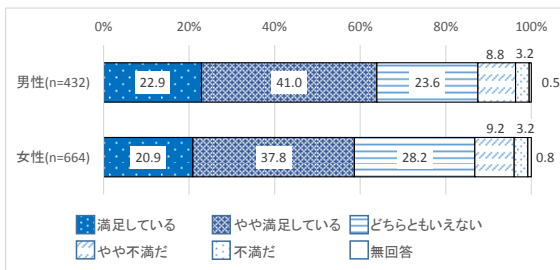
①空気のきれいさ



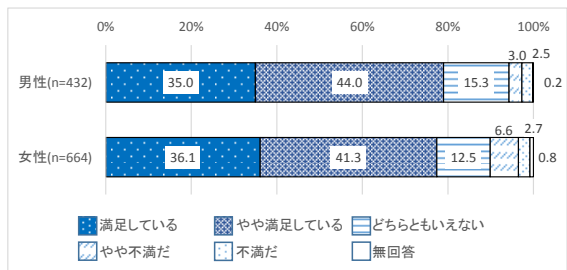
②まちの静けさ



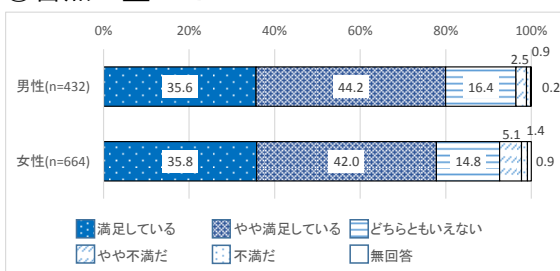
③川や水辺のきれいさ



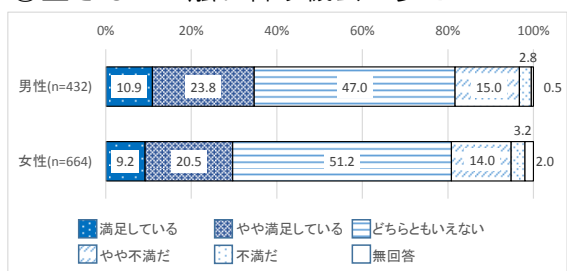
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ



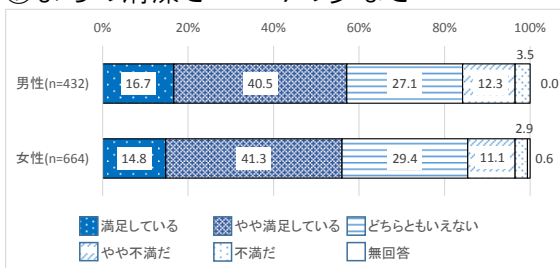
⑤自然の豊かさ



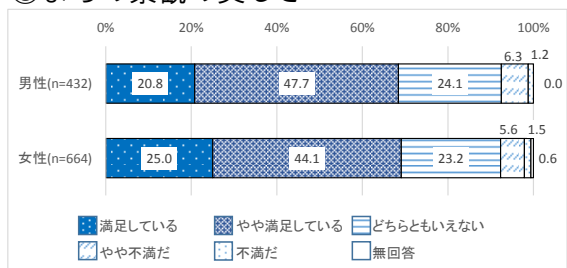
⑥生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



⑧まちの景観の美しさ



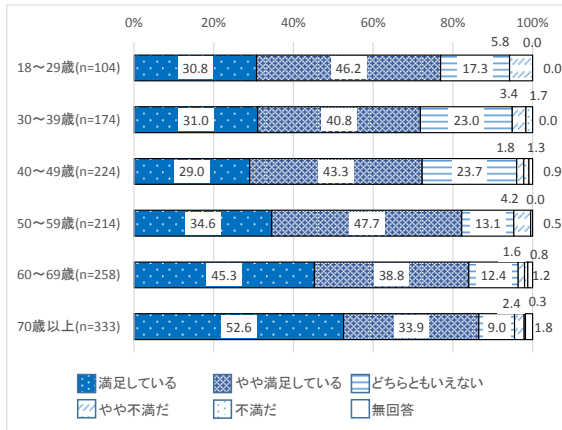
Ⅲ 調査結果

【環境に関する満足度×年齢別】

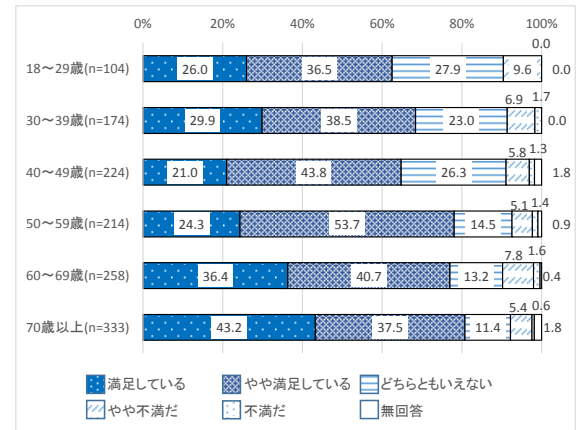
ほとんどの項目において、60歳～69歳、70歳以上の年齢が高い層で「満足している」と回答した人の割合が高い。

特に「①空気のきれいさ」、「②まちの静けさ」について「満足する」と回答した70歳以上の割合は、最も低い40～49歳に比べて20ポイント以上高い。

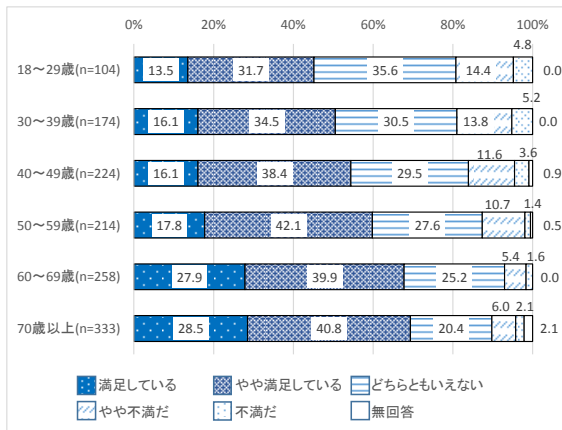
①空気のきれいさ



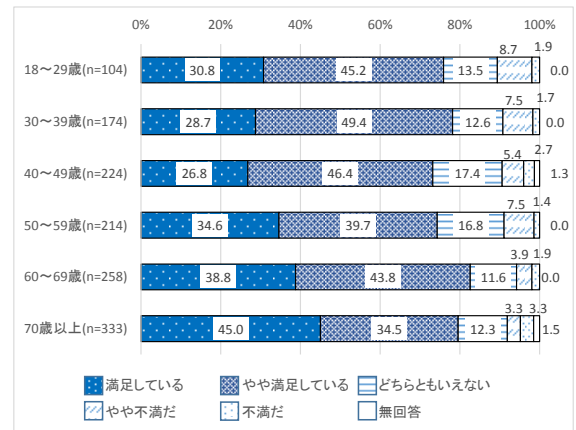
②まちの静けさ



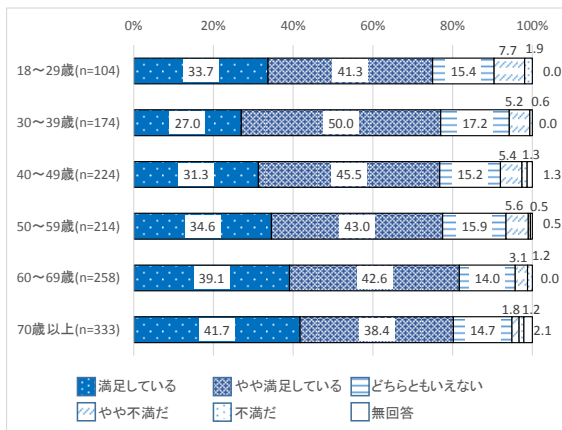
③川や水辺のきれいさ



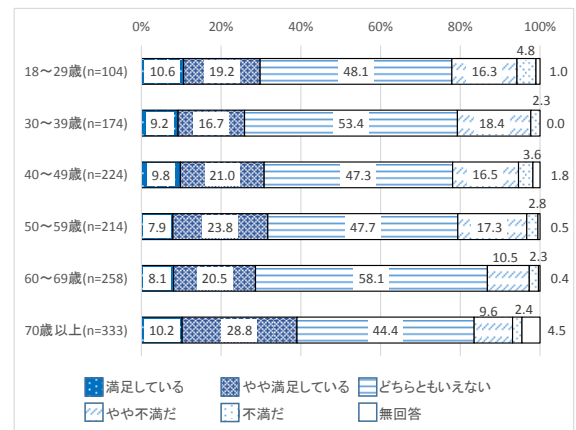
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ



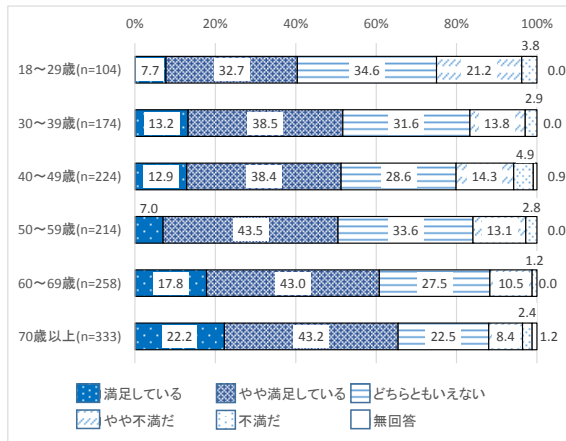
⑤自然の豊かさ



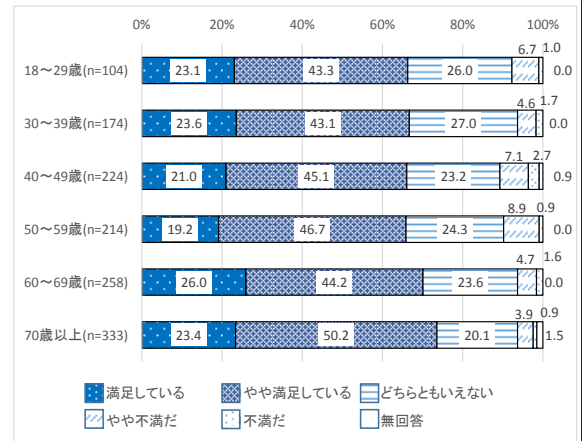
⑥生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



⑧まちの景観の美しさ



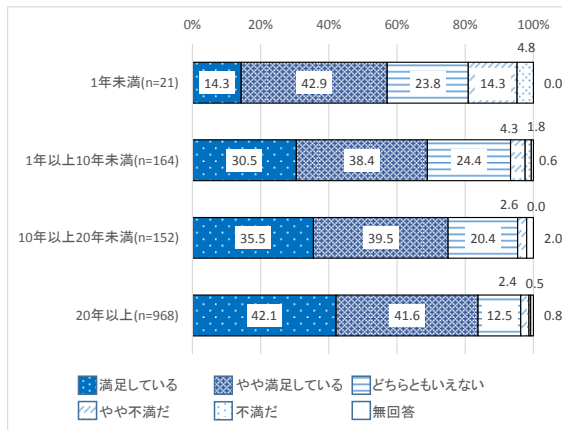
Ⅲ 調査結果

【環境に関する満足度×仙台における居住期間別】

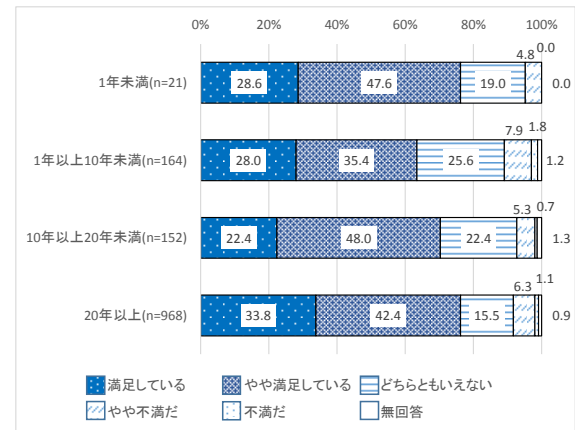
「満足している」又は「やや満足している」と回答した人の割合は、ほとんどの項目において、仙台における居住期間10年以上が高く、1年未満が最も低い。

特に、「①空気のきれいさ」や「④街路樹や公園などの身近な緑の多さ」、「⑤自然の豊かさ」については、居住期間が1年未満で「やや不満だ」又は「不満だ」と回答した人の割合が高い。

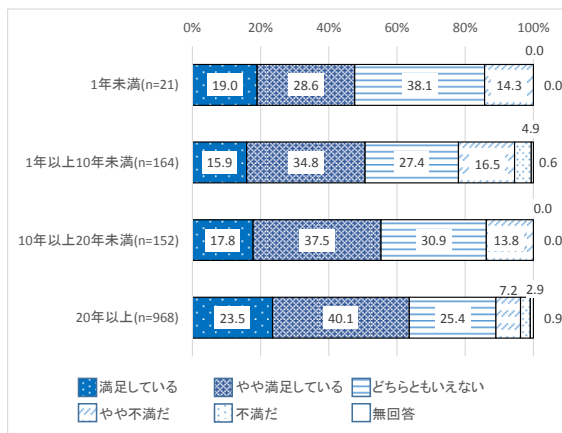
①空気のきれいさ



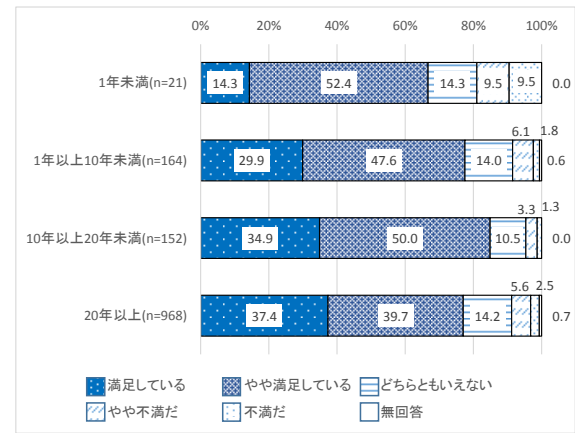
②まちの静けさ



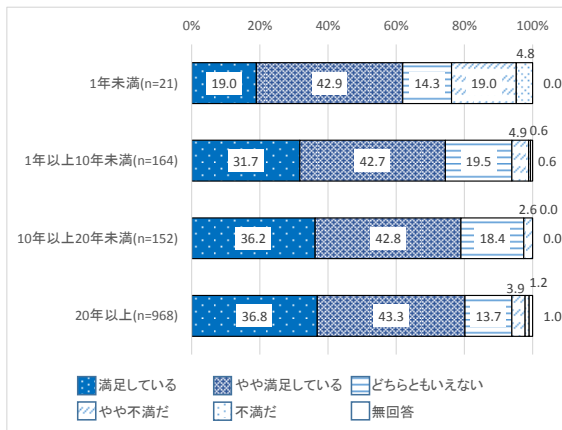
③川や水辺のきれいさ



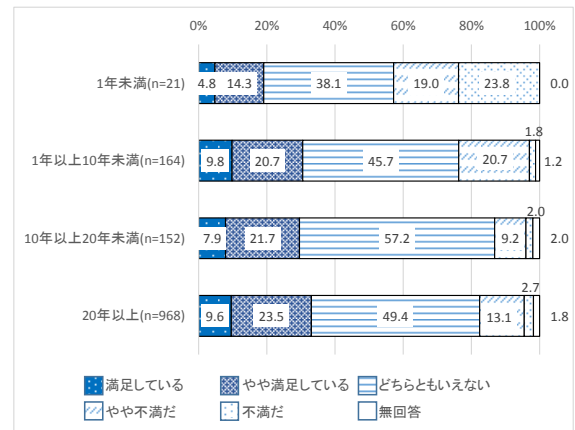
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ



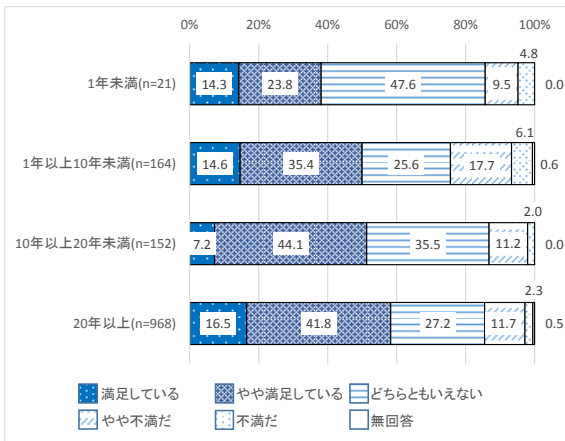
⑤自然の豊かさ



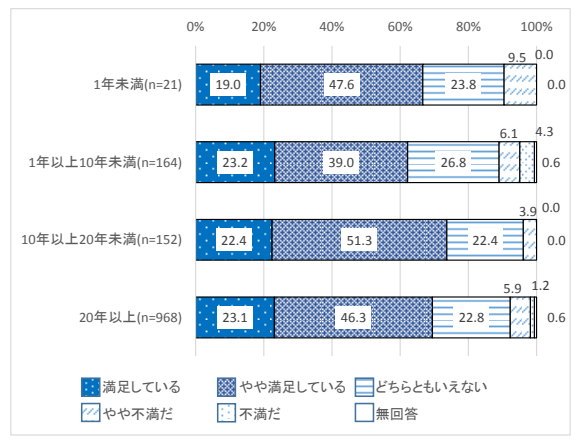
⑥生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



⑧まちの景観の美しさ



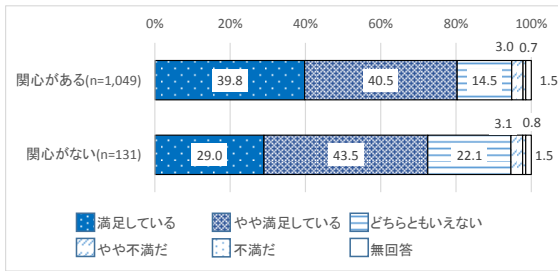
Ⅲ 調査結果

【環境に関する満足度×自然環境の保全への関心度別】

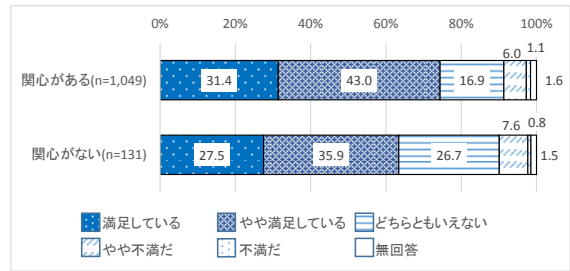
いずれの項目も、「満足している」と回答した人の割合は、自然環境の保全に関心がある人の方が高い値となっている。

ただし、「④街路樹や公園などの身近な緑の多さ」、「⑤自然の豊かさ」、「⑧まちの景観の美しさ」について、「やや不満がある」又は「不満である」と回答した人の割合は、自然環境の保全に関心がある人の方が高い値となっている。

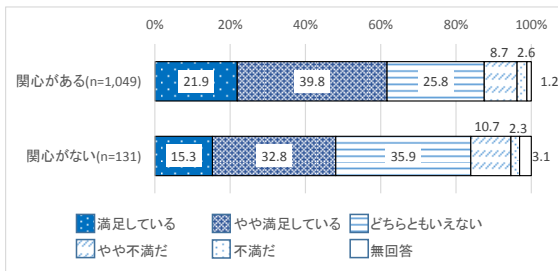
①空気のきれいさ



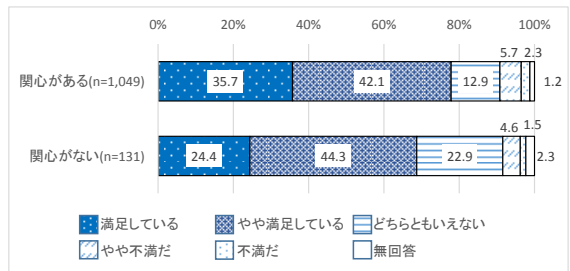
②まちの静けさ



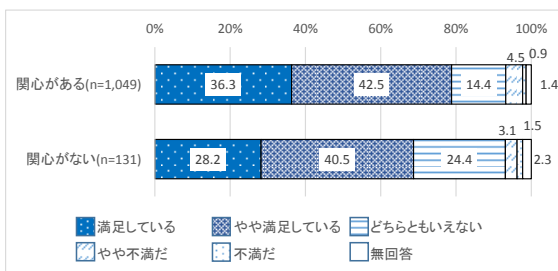
③川や水辺のきれいさ



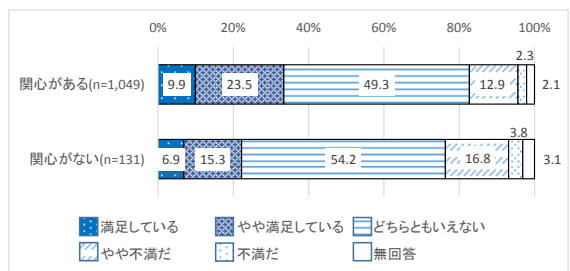
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ



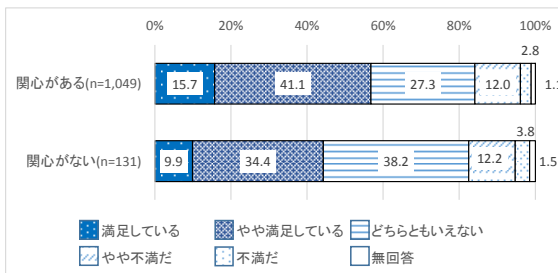
⑤自然の豊かさ



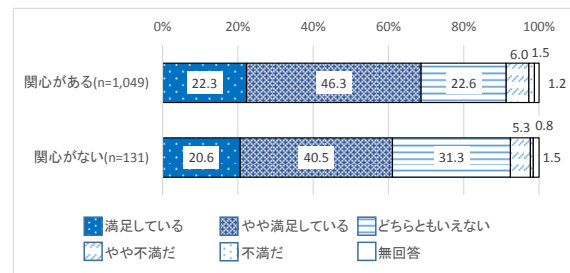
⑥生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



⑧まちの景観の美しさ



(2) 日常生活における環境配慮行動について (問 2)

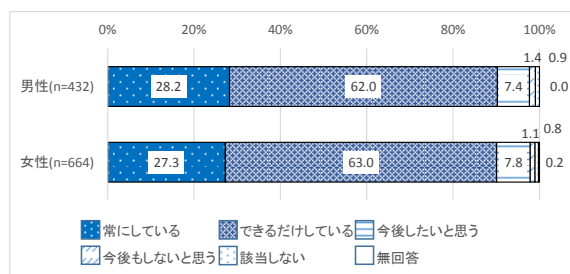
① 地球温暖化防止に配慮した行動について (家庭内や外出先での行動)

【地球温暖化防止に配慮した行動 (家庭内や外出先) × 性別】

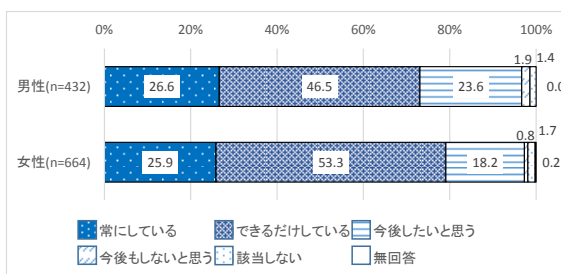
「④車を運転する際は、エコドライブを心がける」について、「常にしている」又は「できるだけしている」と回答した男性の割合は73.1%と、女性の52.4%に比べて、20.7ポイント高い。ただし、女性については、車を運転しないなど「該当しない」との回答も多い。

その他の項目については、性別による大きな差は見られない

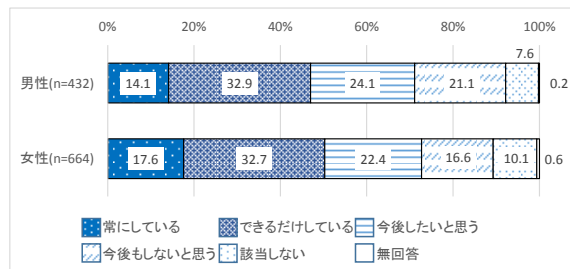
①電気や水、ガスなどの節約を心がける



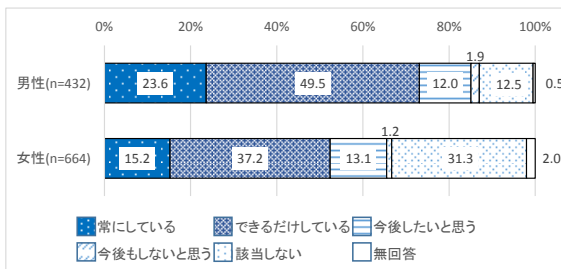
②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する



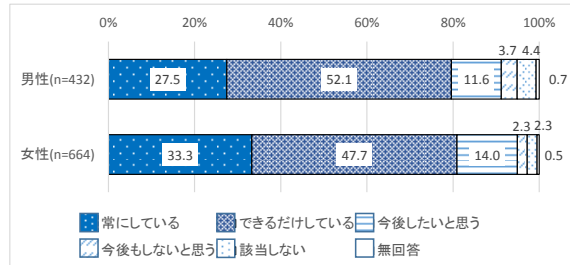
③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する



④車を運転する際は、エコドライブを心がける



⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける

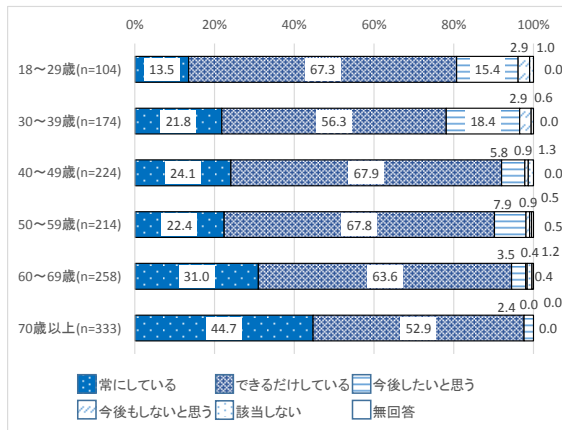


Ⅲ 調査結果

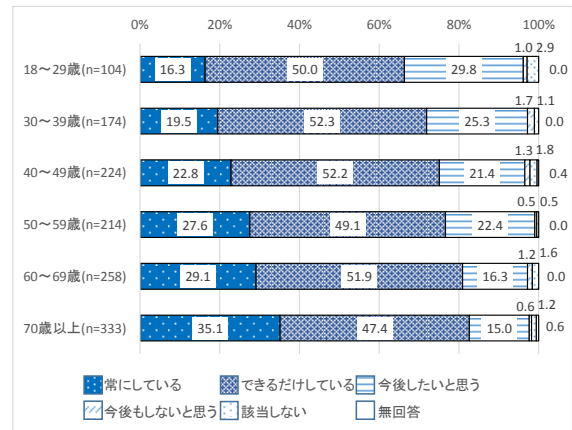
【地球温暖化防止に配慮した行動（家庭内や外出先）×年齢別】

ほとんどの項目において、年齢が高いほど、「常にしている」と回答した人の割合が高い傾向にある。特に、「①電気や水、ガスなどの節約を心がける」や「②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する」については、「常にしている」と回答した人の割合が、70歳以上と19～29歳で差が大きく、若い世代への周知啓発が必要である。

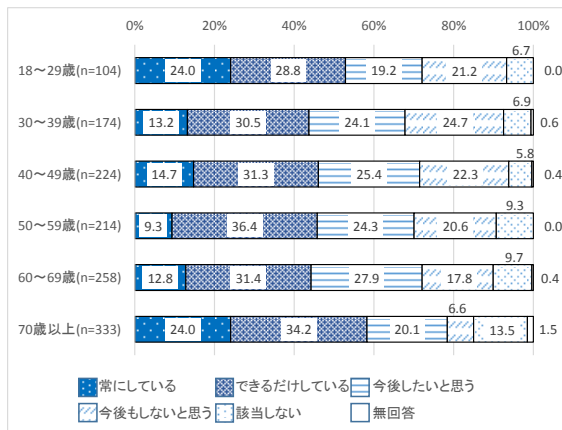
①電気や水、ガスなどの節約を心がける



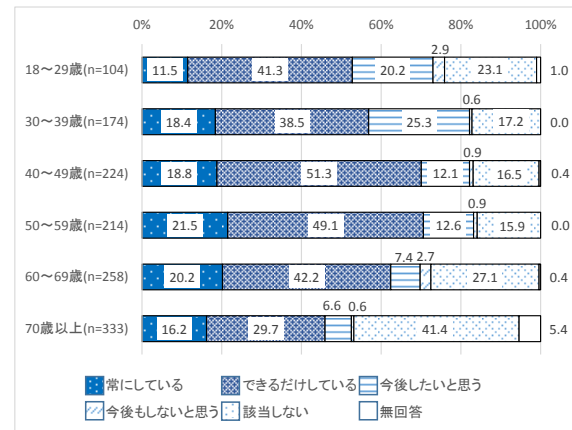
②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する



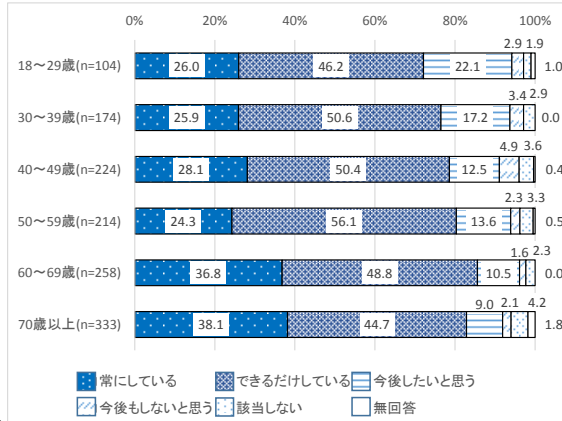
③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する



④車を運転する際は、エコドライブを心がける



⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける

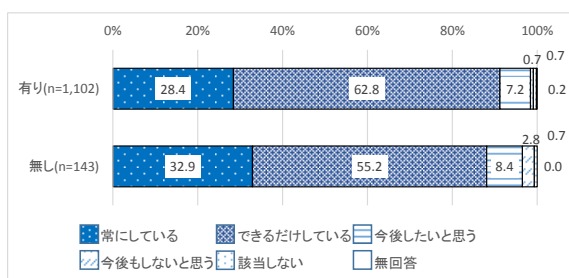


【地球温暖化防止に配慮した行動（家庭内や外出先）×同居人の有無】

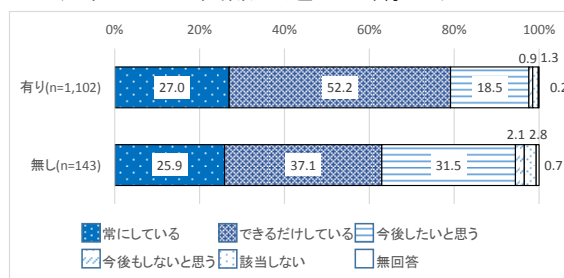
多くの項目で、「常に行っている」又は「できるだけしている」と回答した人の割合は、同居人がいる人の方が高い。

一方、「③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する」については、同居人がいない人の方が、高い値となっており、家族と一緒に出かけの場合等には、利便性の面などから自家用車の利用が好まれる傾向があると考えられる。

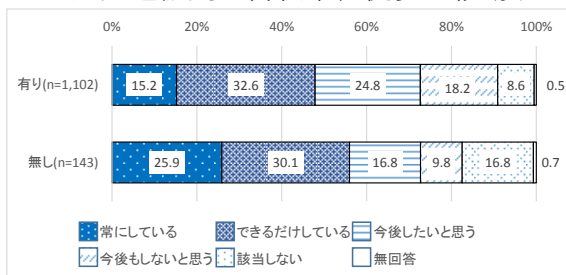
①電気や水、ガスなどの節約を心がける



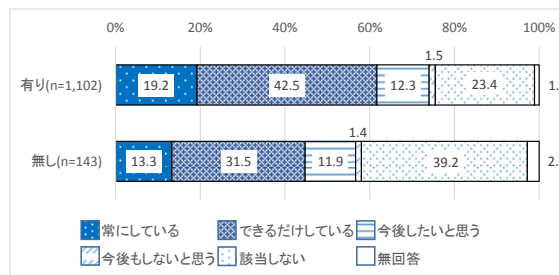
②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する



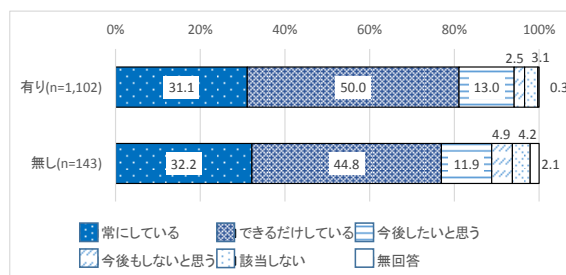
③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する



④車を運転する際は、エコドライブを心がける



⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける

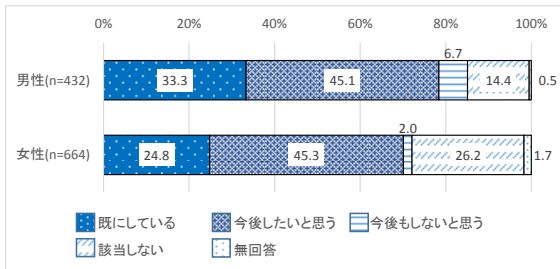


② 地球温暖化防止に配慮した行動について（車の購入や住まいに関する行動）

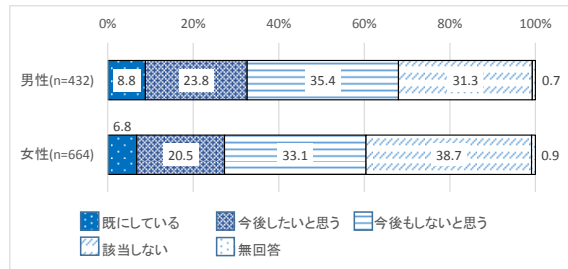
【地球温暖化防止に配慮した行動（車の購入や住まい）×性別】

いずれの項目も、「既になっている」と回答した人の割合は、男性の方が高い。

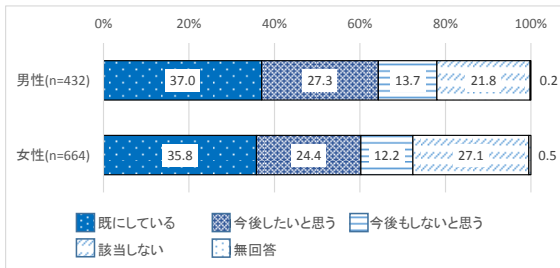
①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ



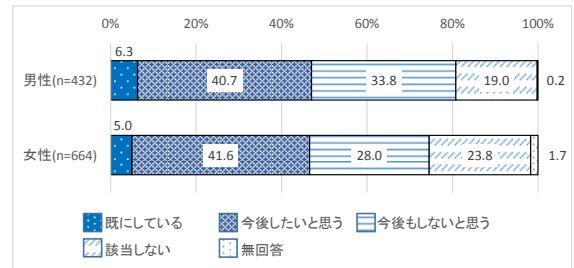
②自宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する



③自宅の断熱性を高くする
（高断熱材、ペアガラス、二重サッシなど）



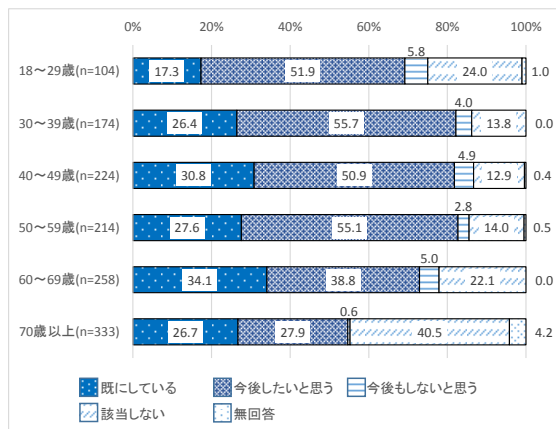
④再生可能エネルギーの比率が高い電力会社から、電気を購入する



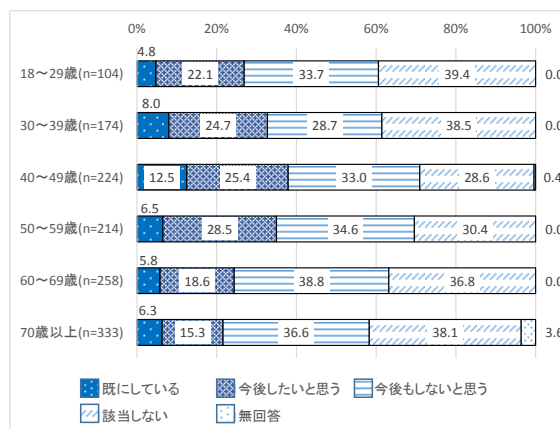
【地球温暖化防止に配慮した行動（車の購入や住まい）×年齢別】

いずれの項目も、「既になっている」又は「今後したいと思う」と回答した人の割合は、40～49歳、50～59歳が高い傾向にある。

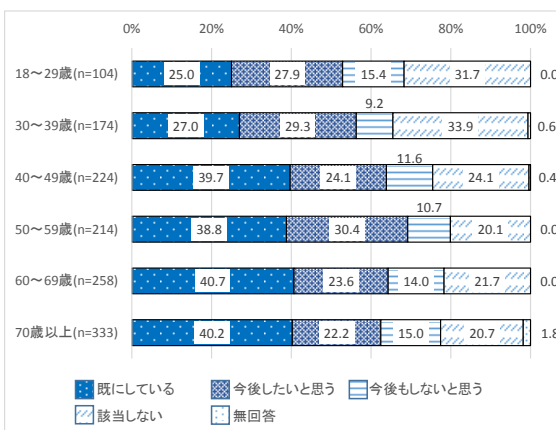
①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ



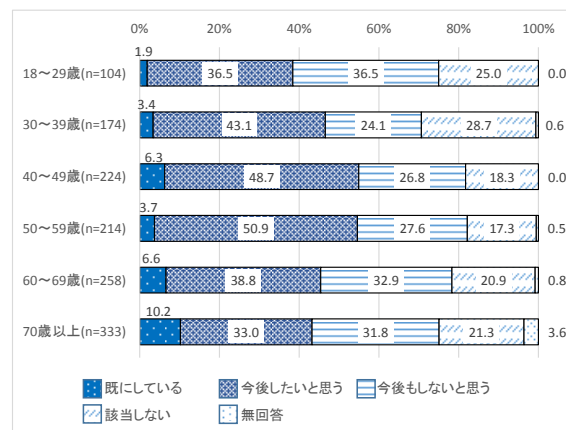
②自宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する



③自宅の断熱性を高くする
(高断熱材、ペアガラス、二重サッシなど)



④再生可能エネルギーの比率が高い電力会社から、電気を購入する

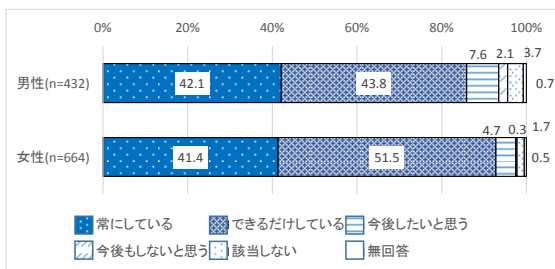


③ ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動について

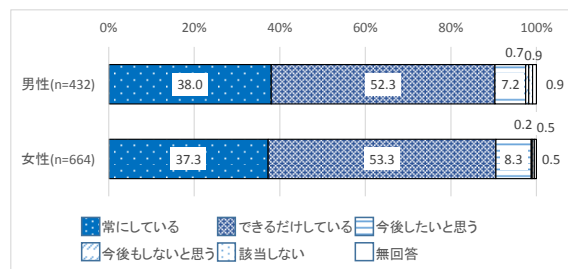
【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×性別】

「⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない」、「⑦コンビニなどでは、割り箸、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない」について、「常にしている」と回答した割合は、女性の方が男性に比べて10.1～14.2ポイント高い。

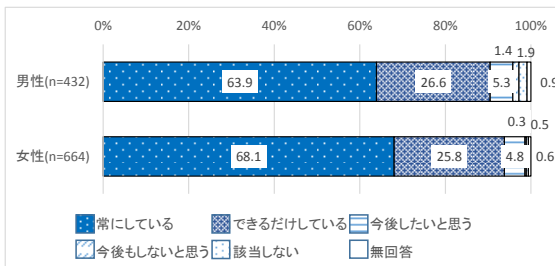
①生ごみは十分に水切りをする



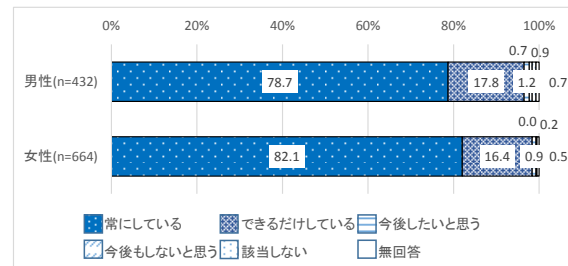
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



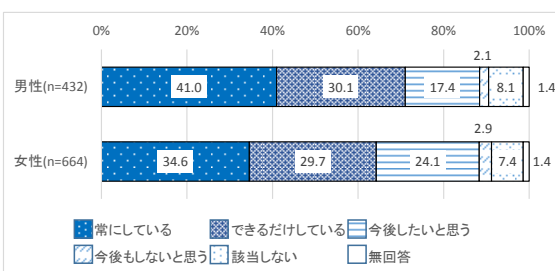
③紙類は分類して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



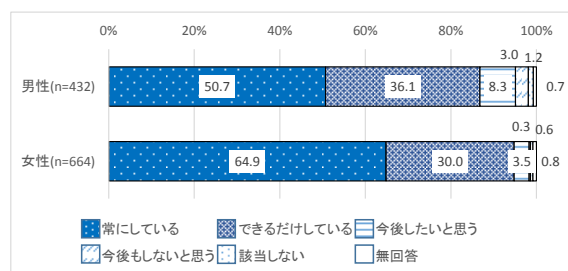
④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



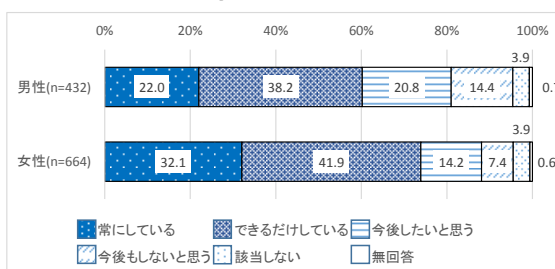
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す



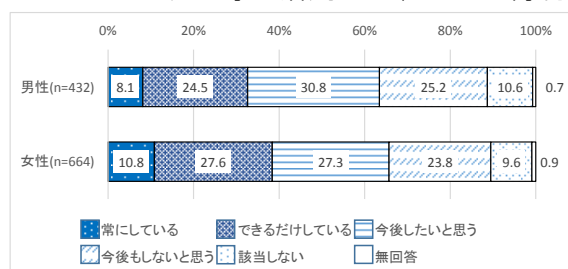
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



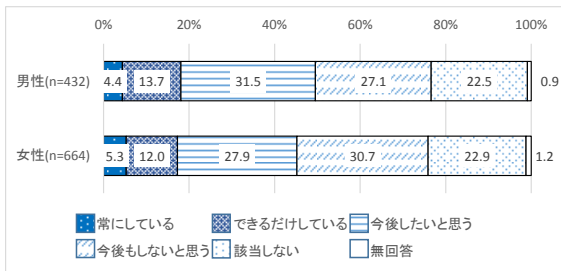
⑦コンビニなどでは、割り箸、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する



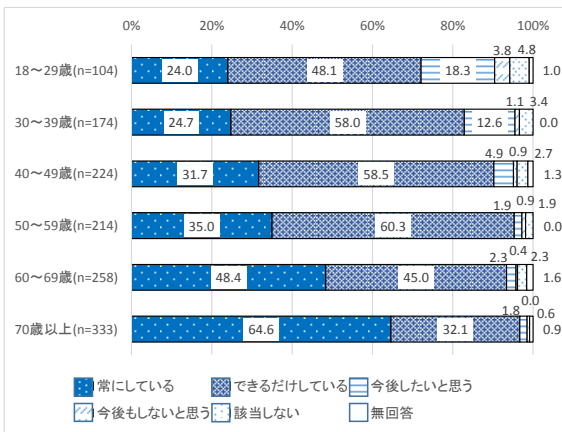
Ⅲ 調査結果

【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×年齢別】

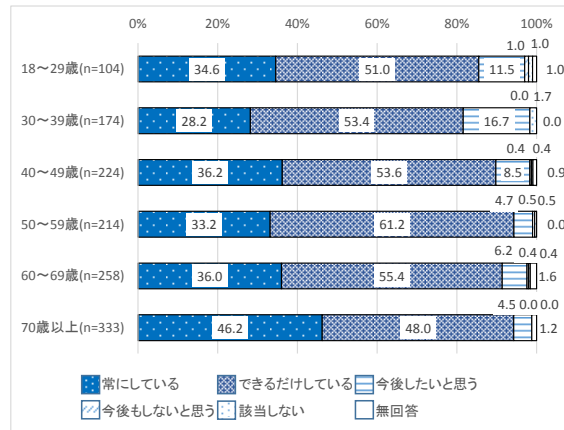
ほとんどの項目で、年齢が高い層に比べて、若い世代の方が、「常にしている」と回答した人の割合が低いことから、若い世代への周知啓発が必要と考えられる。

一方、「⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する」については、若い世代で、「常にしている」又は「できるだけしている」と回答した人の割合が高い。

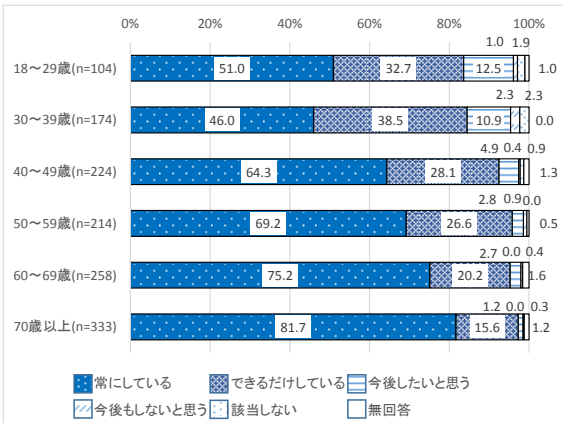
①生ごみは十分に水切りをする



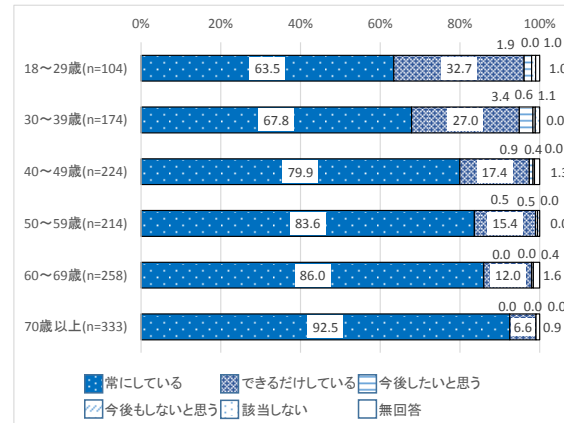
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



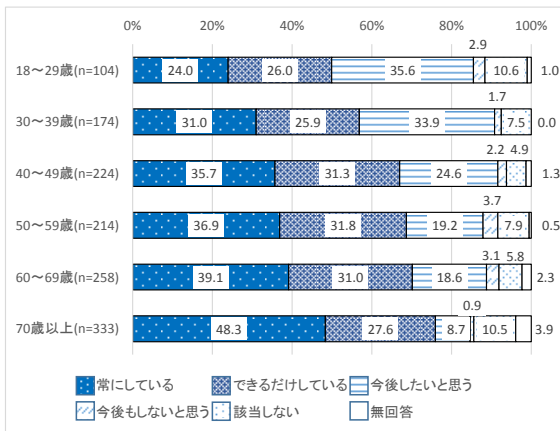
③紙類は分類して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



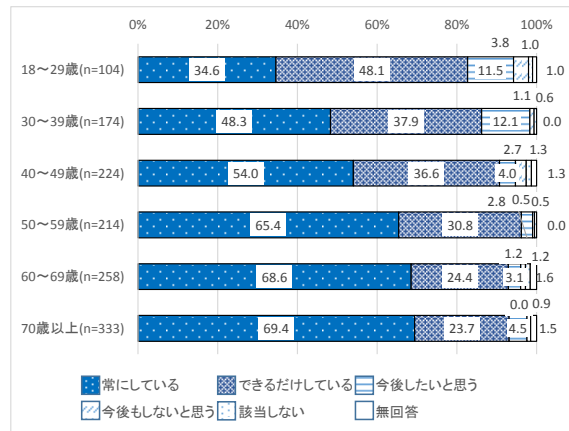
④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



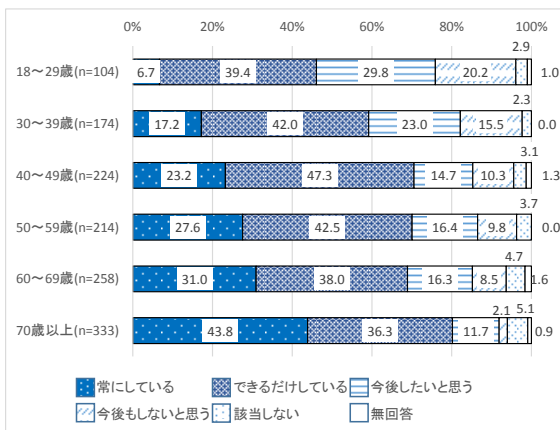
⑤ 小型家電は分別して回収ボックスに出す



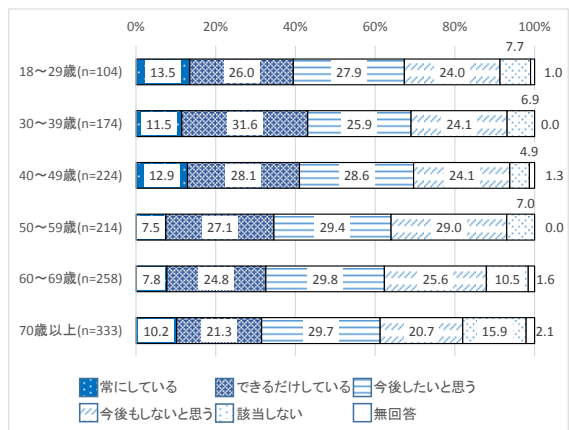
⑥ 買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



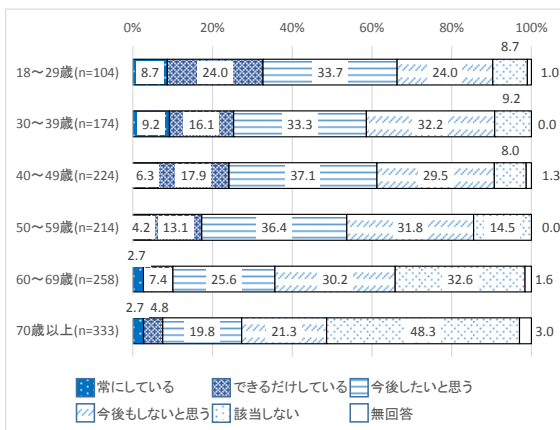
⑦ コンビニなどでは、割り箸、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧ リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨ スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する

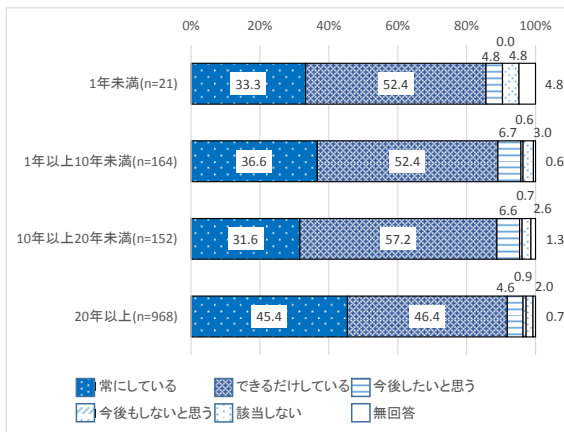


Ⅲ 調査結果

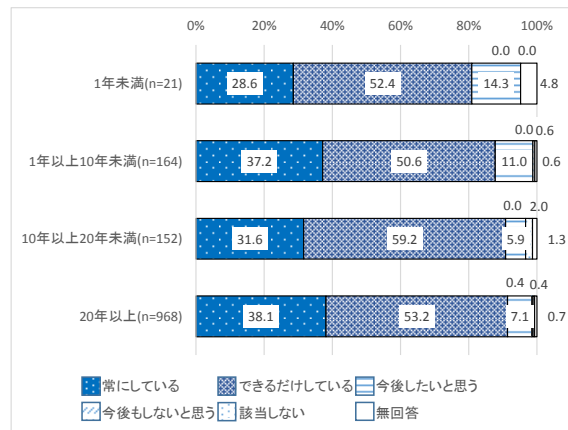
【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×仙台における居住期間別】

「④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す」について、「常になっている」と回答した人の割合は、仙台市における居住期間が1年未満の人が低い。プラスチック容器包装等は、地域によって分別ルールが異なることから、市内への転入者に対する周知啓発の徹底が重要だと考えられる。

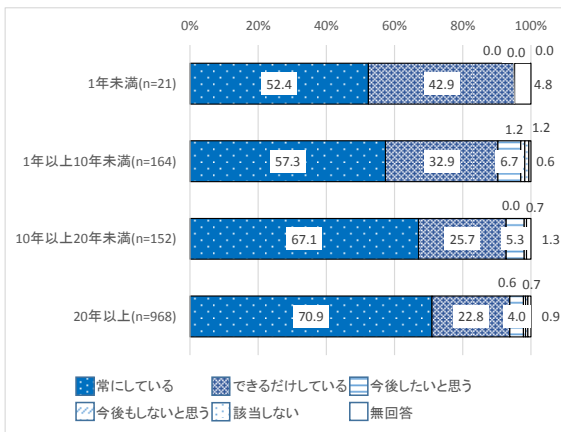
①生ごみは十分に水切りをする



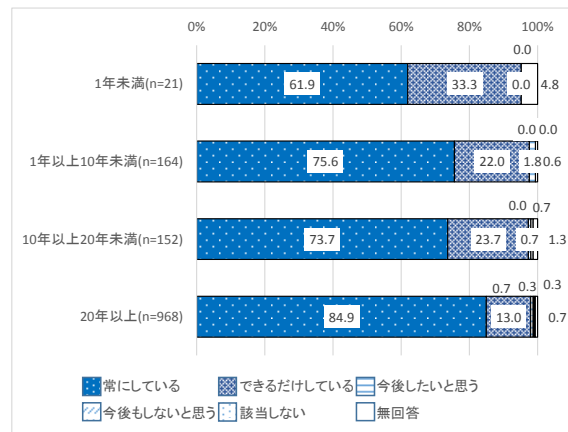
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



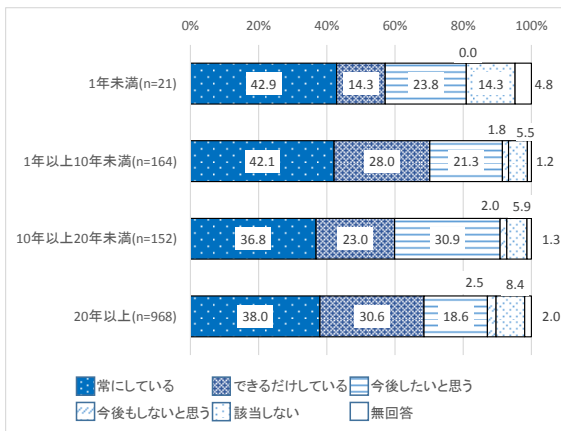
③紙類は分類して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



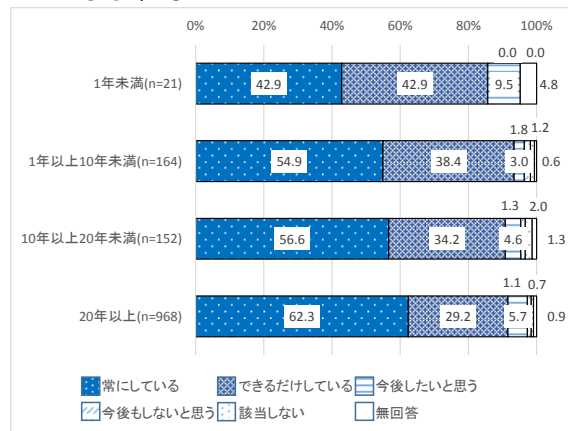
④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



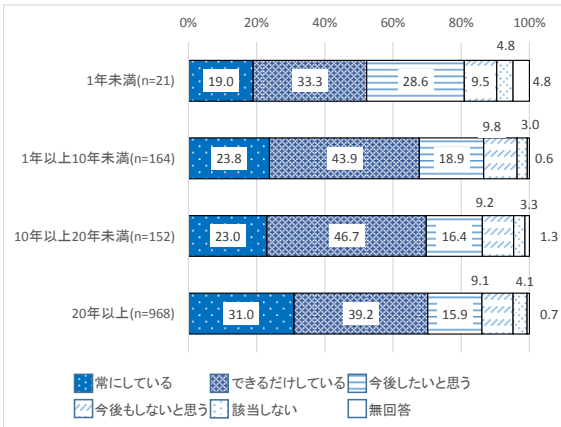
⑤ 小型家電は分別して回収ボックスに出す



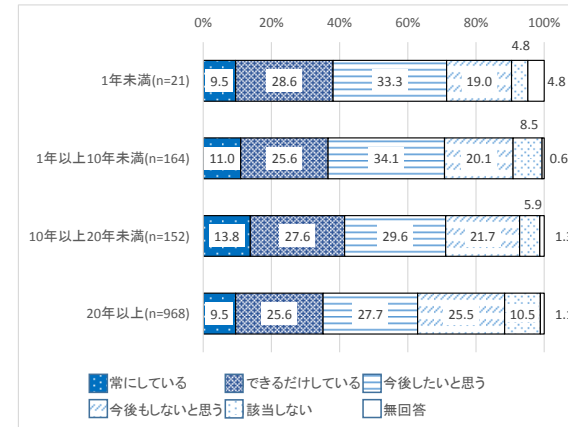
⑥ 買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



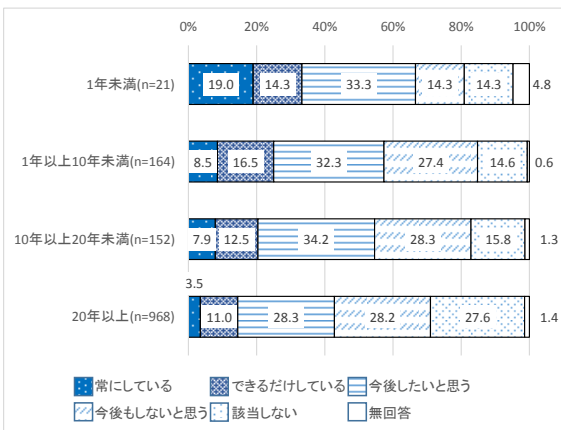
⑦ コンビニなどでは、割り箸、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧ リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨ スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する



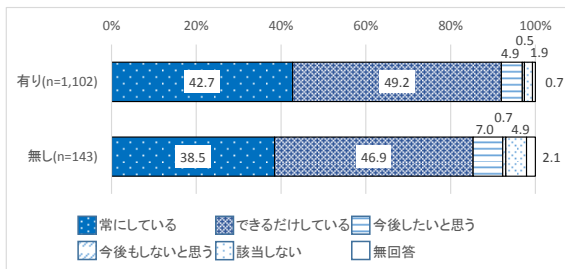
Ⅲ 調査結果

【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×同居人の有無別】

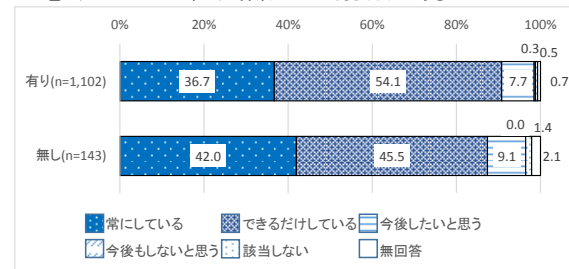
ほとんどの項目で、同居人がいない人の方が、いる人に比べて「常にしている」と回答した人の割合が低い傾向にある。

特に「③紙類は分類して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す」、「④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す」、「⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない」については、同居人がいない人の方が、いる人に比べて、9.6～14.9ポイント低い。

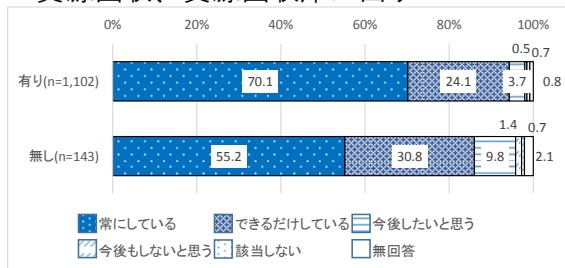
①生ごみは十分に水切りをする



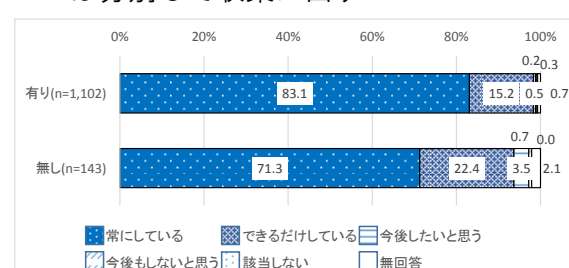
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



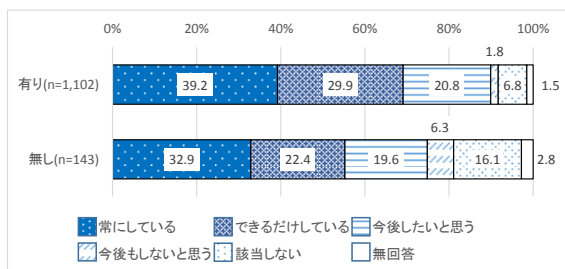
③紙類は分類して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



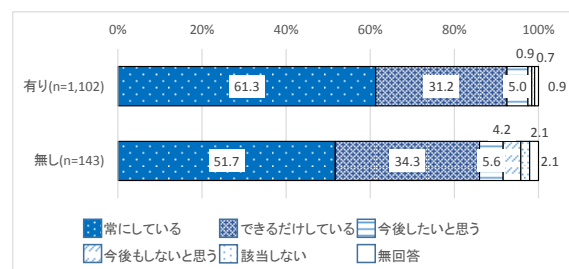
④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



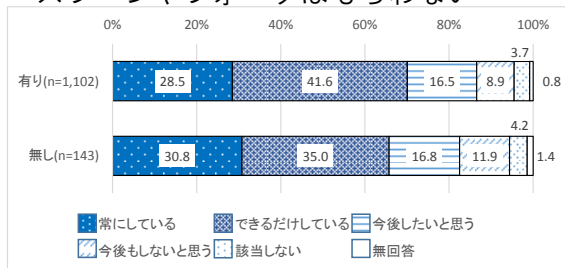
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す



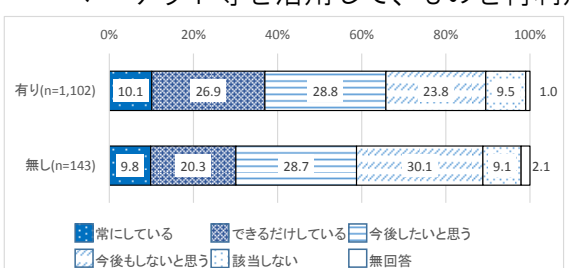
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



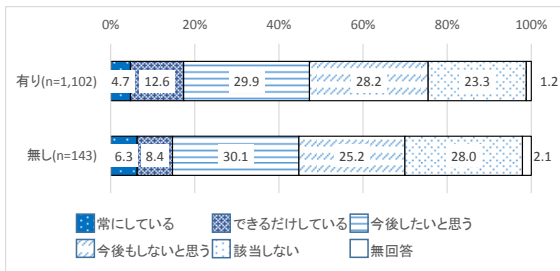
⑦コンビニなどでは、割り箸、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する



Ⅲ 調査結果

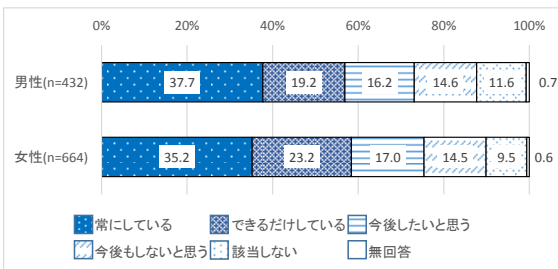
④ 自然環境の保全に配慮した行動について

【自然環境の保全に配慮した行動×性別】

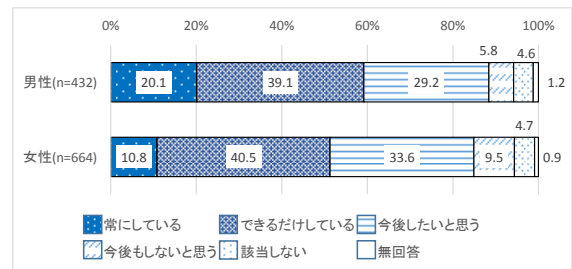
ほとんどの項目で、女性の方が男性に比べて「常に行っている」又は「できるだけしている」と回答した人の割合が高い傾向にある。

一方、「②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ」については、「常に行っている」と回答した男性の割合は、女性の約2倍となっている。

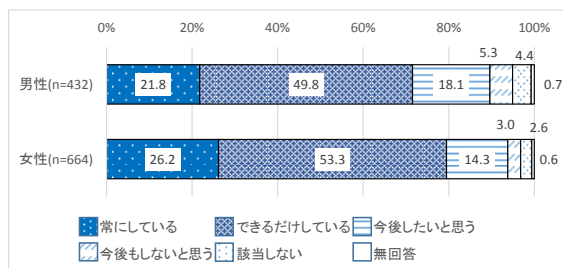
①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる



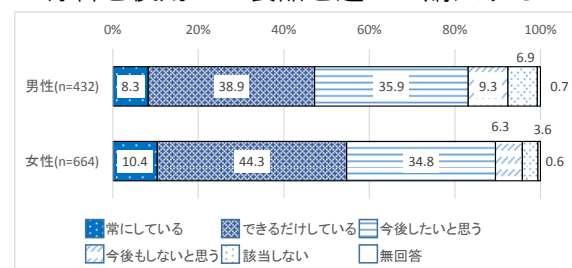
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ



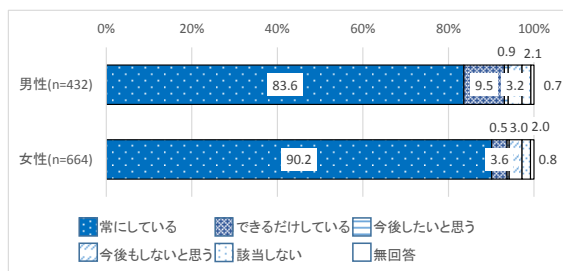
③食料品を買う際、地元産や旬のものを選ぶ



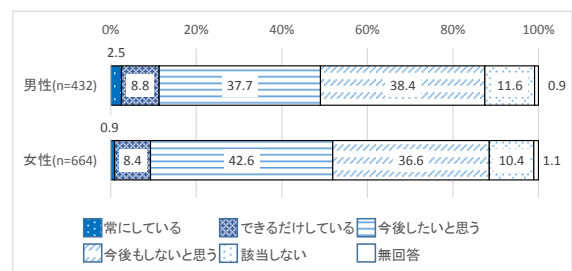
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する



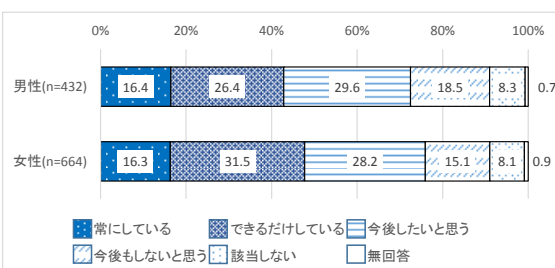
⑤ごみのポイ捨てをしない



⑥環境に関する講座やイベントに参加する



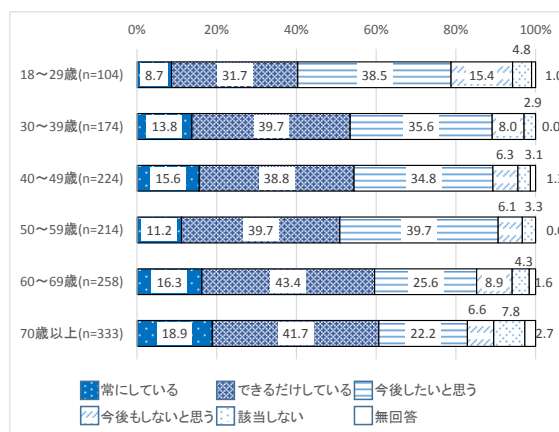
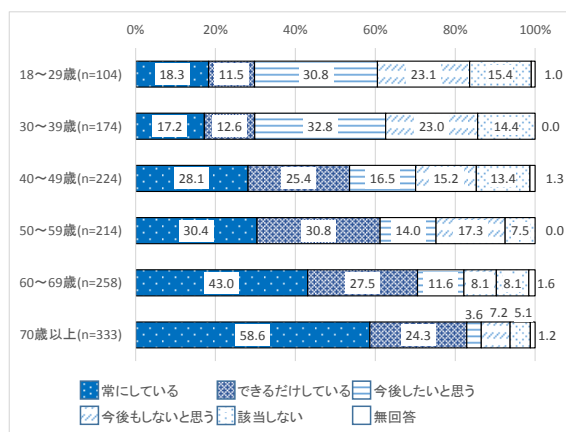
⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する



【自然環境の保全に配慮した行動×年齢別】

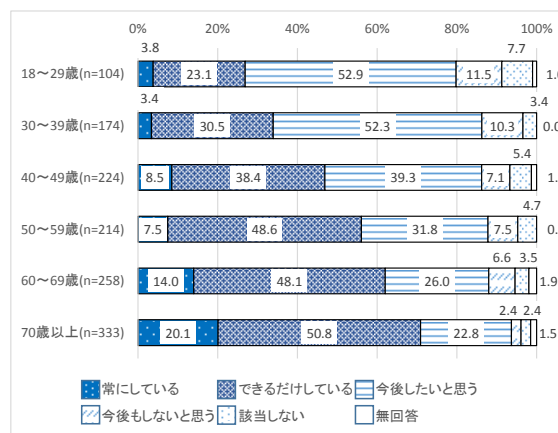
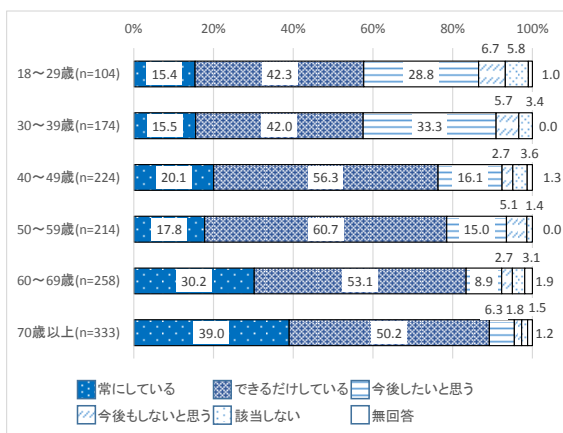
ほとんどの項目において、年齢が高いほど、「常にしている」又は「できるだけしている」と回答した人の割合が高い傾向にある。特に、「①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる」については、「常にしている」と回答した人の割合は、最も高い70歳以上と、最も低い18～29歳・30～39歳で40ポイント以上の差がある。

①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる ②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ



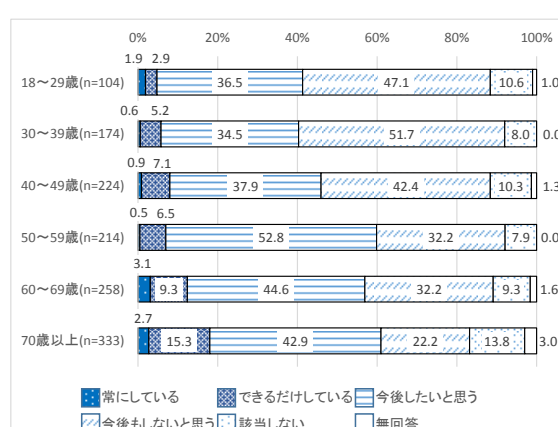
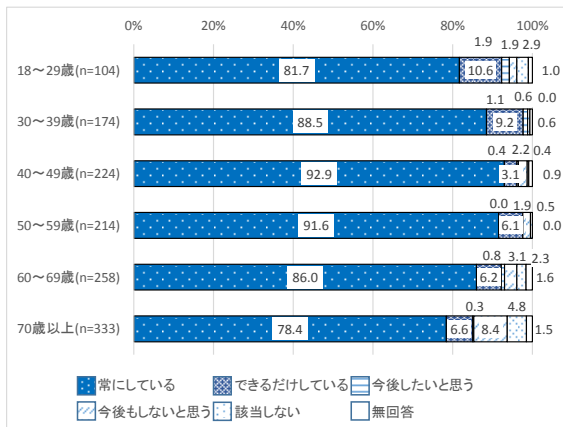
③食料品を買う際、地元産や旬のものを選ぶ

④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する



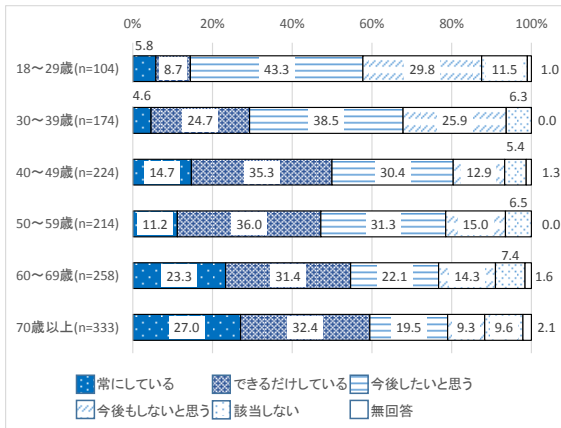
⑤ごみのポイ捨てをしない

⑥環境に関する講座やイベントに参加する



Ⅲ 調査結果

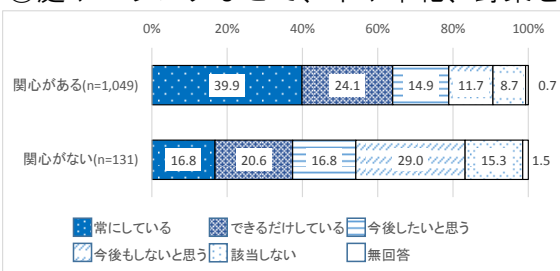
⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する



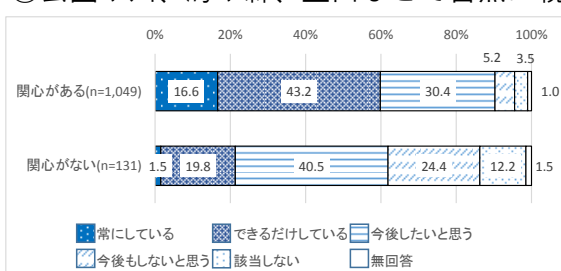
【自然環境の保全に配慮した行動×自然環境の保全への関心】

全ての項目で、自然環境の保全に関心がある人の方が「常にしている」と回答した人の割合が高く、関心がない人の約2～3倍となっている。このことから、自然環境の保全への関心を高めることが、配慮行動につながると考えられる。

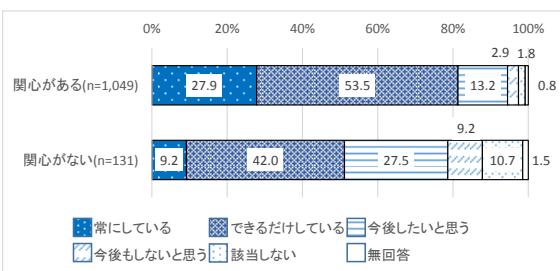
①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる



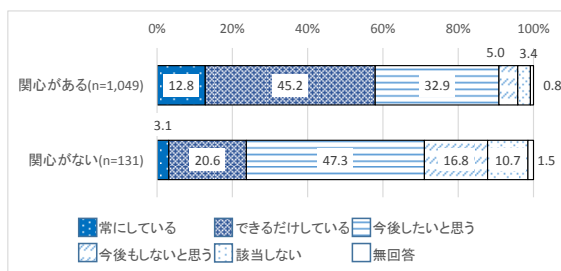
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ



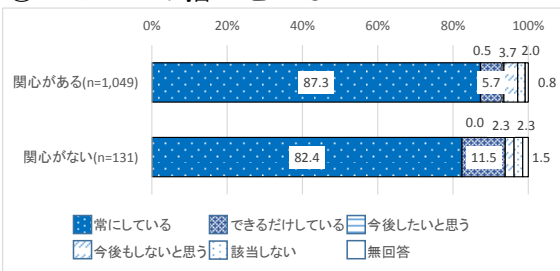
③食料品を買う際、地元産や旬のものを選ぶ



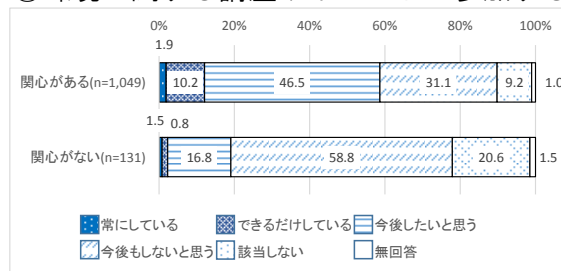
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する



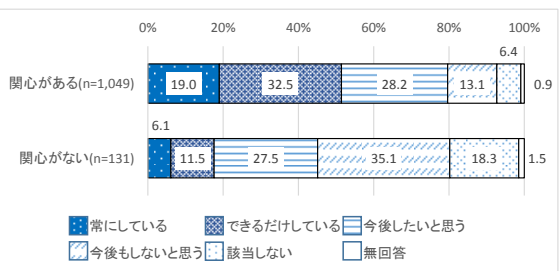
⑤ごみのポイ捨てをしない



⑥環境に関する講座やイベントに参加する



⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する



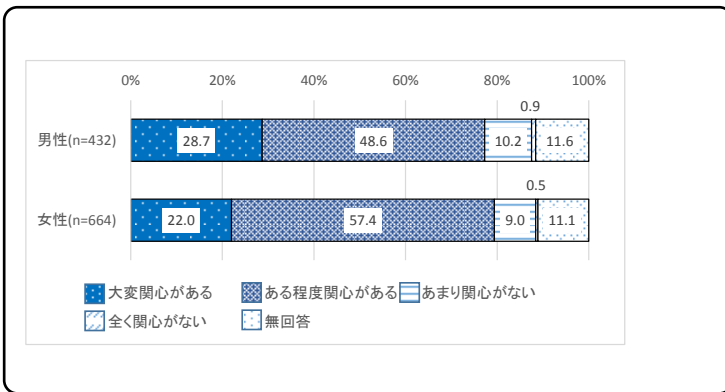
(3) 自然環境の保全について

①自然環境の保全に対する関心について（問3）

【自然環境の保全への関心×性別】

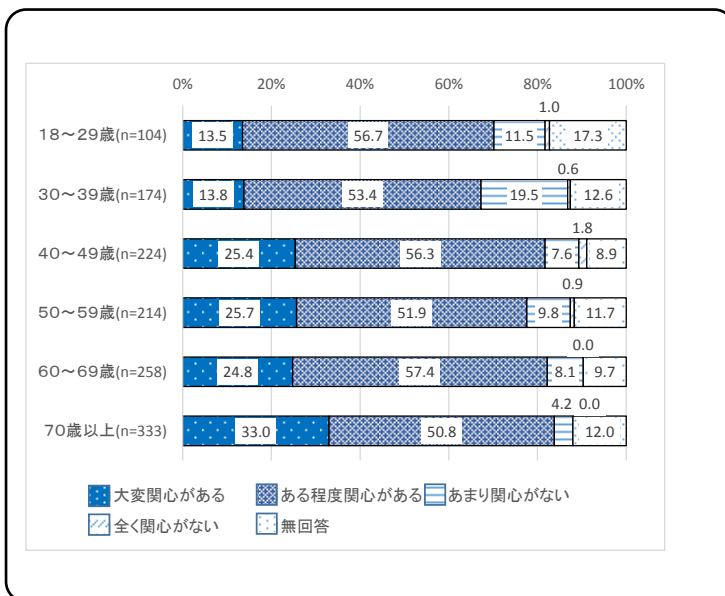
「大変関心がある」又は「ある程度関心がある」と回答した人の割合について、性別による大きな差は見られない。

ただし、「大変関心がある」と回答した男性は28.7%と、女性の22.0%に比べて6.7ポイント高い。



【自然環境の保全への関心×年齢別】

40歳以上では、77.6%～83.8%が「大変関心がある」又は「ある程度関心がある」と回答したのに対し、18歳～29歳、30～39歳では、それぞれ70.2%、69.2%と、約10ポイント低い値となっており、若い世代を対象とした普及啓発が必要と考えられる。



②生物多様性の保全のため仙台市が取り組む施策について（問4）

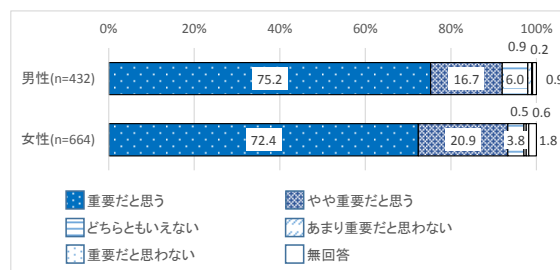
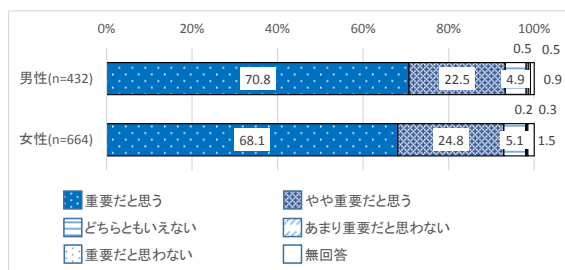
【仙台市の生物多様性保全の取り組み×性別】

ほとんどの項目において、「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答した人の割合は、男性に比べて女性の方が高い。

特に「④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進」について、「重要だと思う」と回答した女性の割合は44.7%と、男性の34.0%に比べて11.7ポイント高い。また、「③生態系の保全につながる地産池消の推進」についても、女性は男性に比べて5.2ポイント高く、普段の消費行動における配慮を重視していることがうかがえる。

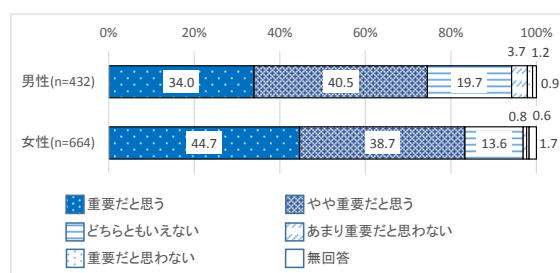
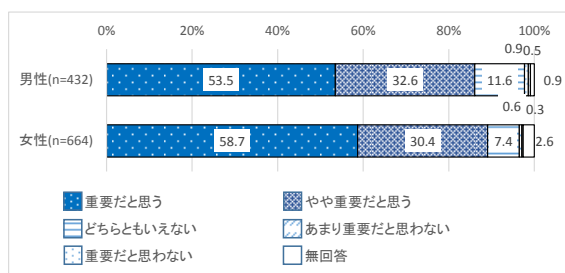
①多様な生きものが生息する自然環境の保全

②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物(外来種)への対策



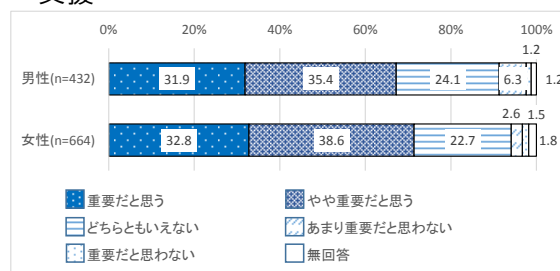
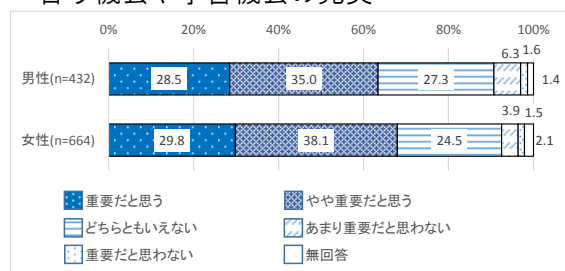
③生態系の保全につながる地産池消の推進

④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進



⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実

⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援



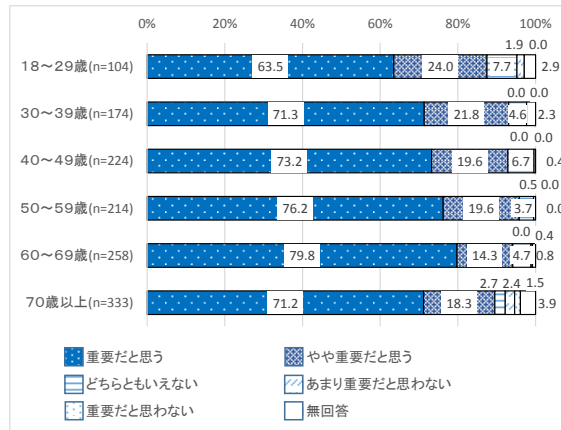
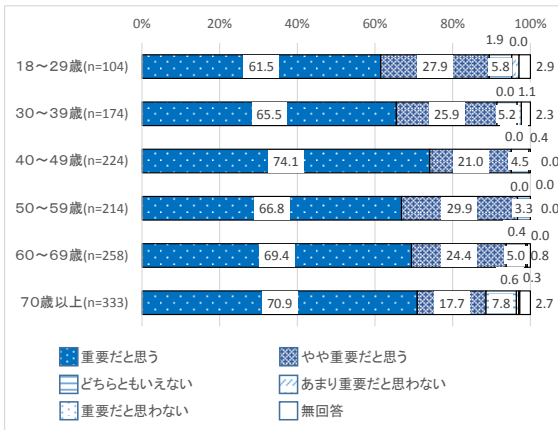
Ⅲ 調査結果

【仙台市の生物多様性保全の取り組み×年齢別】

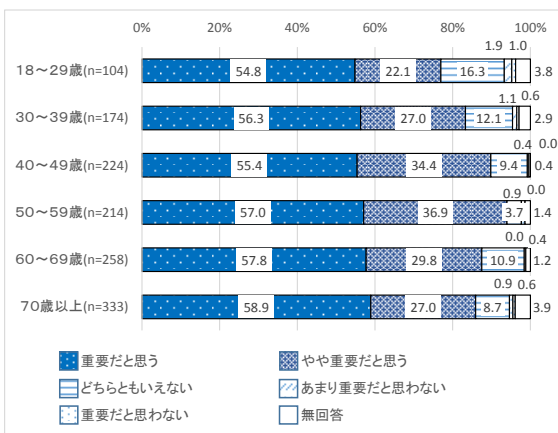
いずれの項目も、「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答した人の割合について、年齢による大きな差は見られない。

ただし、「⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実」について、「重要だと思う」と回答した人の割合は、他の年代に比べて、18歳～29歳と50～59歳がやや低い。

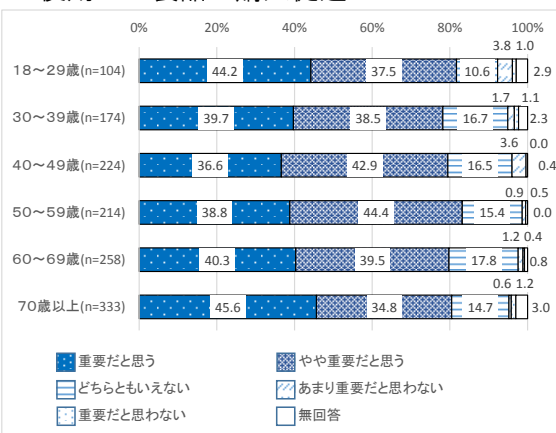
①多様な生きものが生息する自然環境の保全 ②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物(外来種)への対策



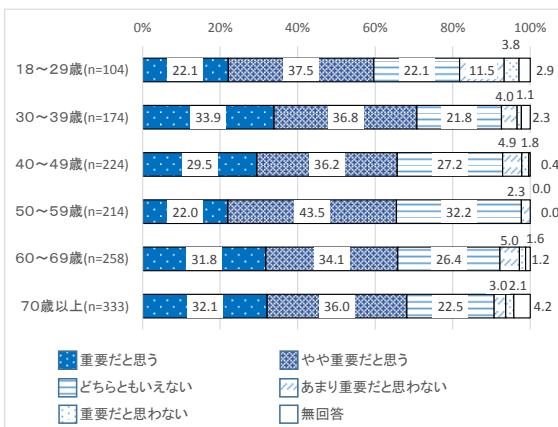
③生態系の保全につながる地産池消の推進



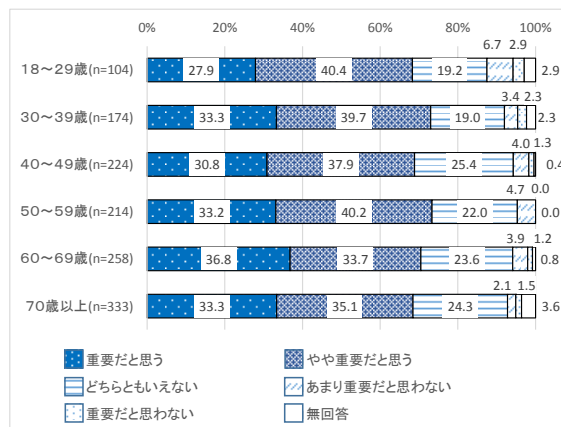
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進



⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実



⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援

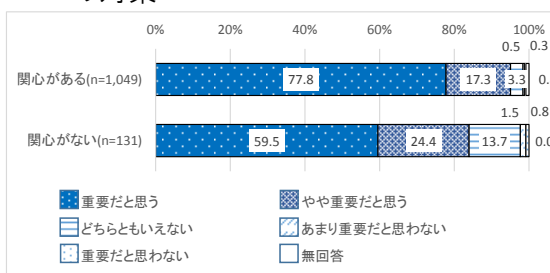
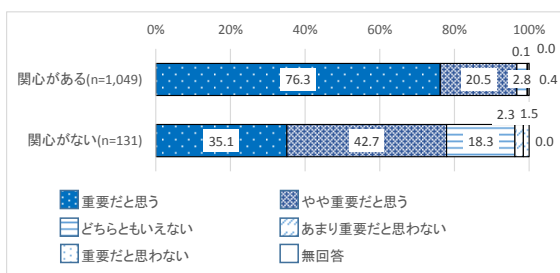


【仙台市の生物多様性保全の取り組み×自然環境の保全への関心】

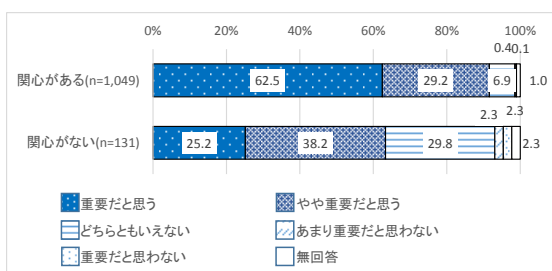
いずれの項目も、「重要だと思う」と回答した人の割合は、自然環境の保全に関心がある人の方が高い。

特に「①多様な生きものが生息する自然環境の保全」については、関心がある人の76.3%が「重要だと思う」と回答しており、関心がない人に比べて41.2ポイントも高い。

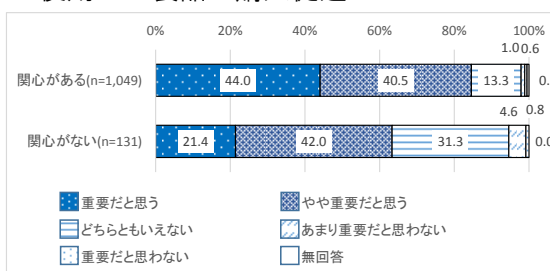
①多様な生きものが生息する自然環境の保全 ②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物(外来種)への対策



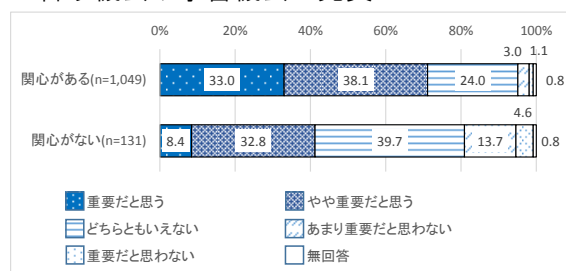
③生態系の保全につながる地産池消の推進



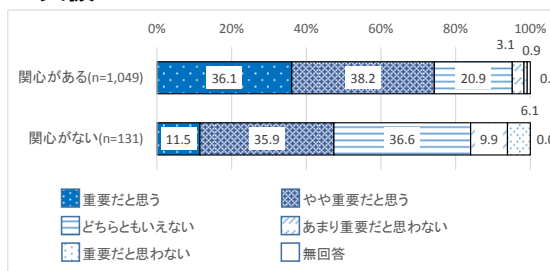
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進



⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実



⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援



(4) 地球温暖化対策について (問5)

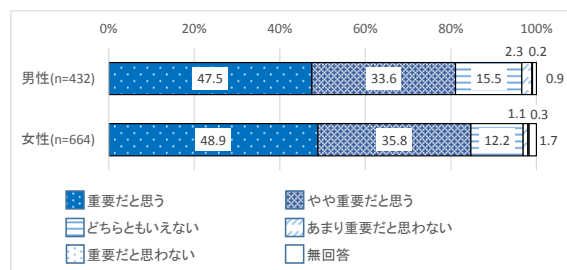
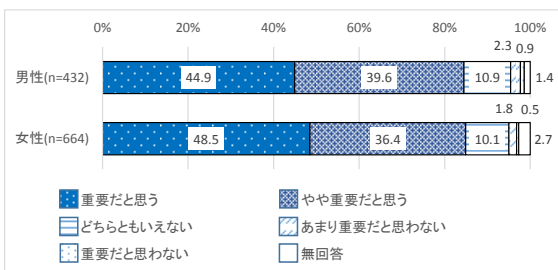
【仙台市の地球温暖化対策の取り組み×性別】

いずれの項目も、「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答した人の割合について、性別による大きな差は見られない。

ただし、「⑧熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供」について、「重要だと思う」と回答した女性の割合は68.7%と、男性の55.6%に比べて13.1ポイント高い。

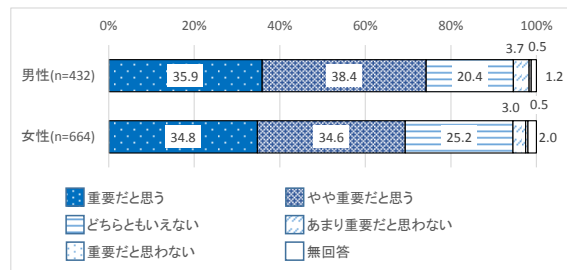
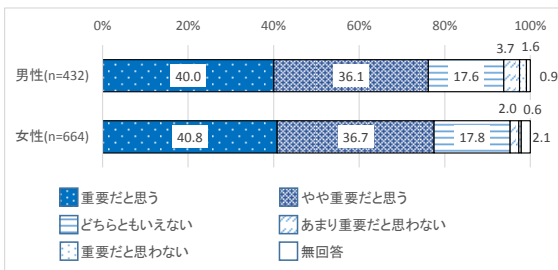
①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた

②公共交通機関や自転車など、環境にやさしい交通手段の利用促進



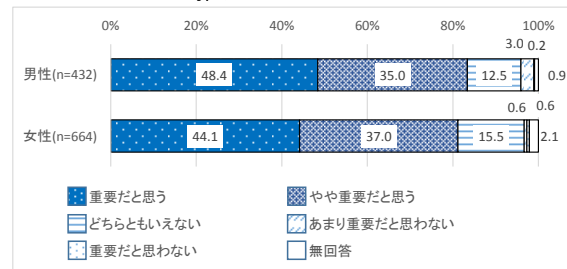
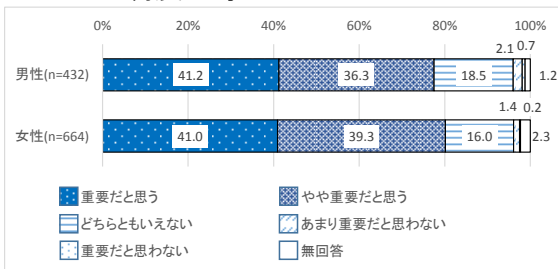
③太陽光発電など再生可能エネルギーの普及

④エネルギー消費の小さい建築物の普及



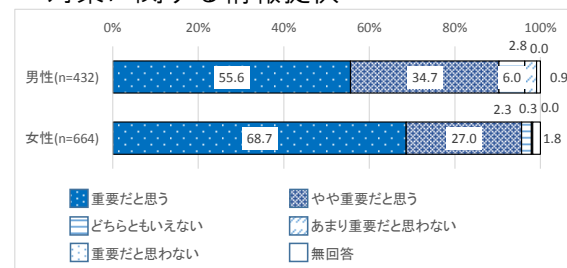
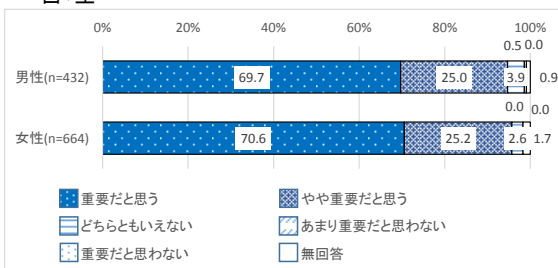
⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制を進める制度の導入

⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進

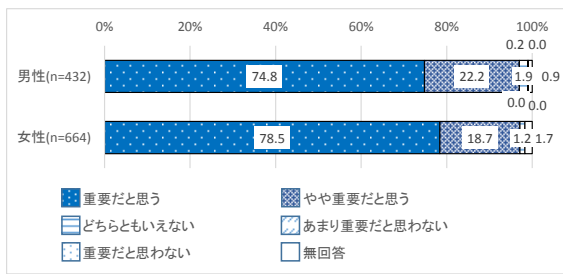


⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理

⑧熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供



⑨保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策



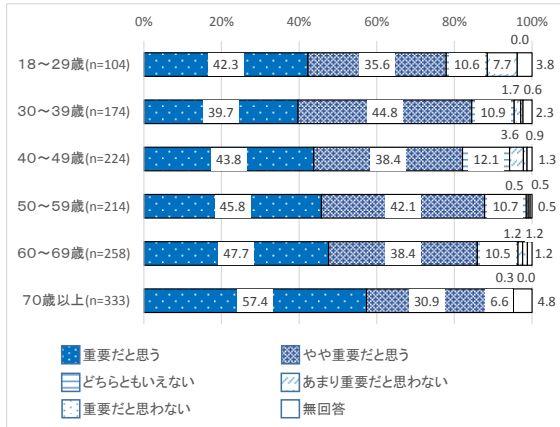
Ⅲ 調査結果

【仙台市の地球温暖化対策の取り組み×年齢別】

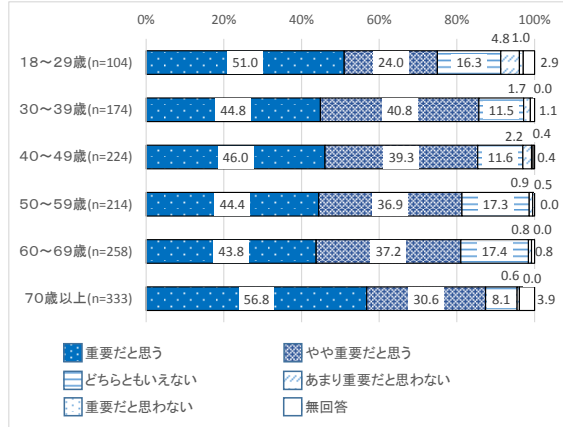
いずれの項目も、「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」と回答した人の割合は高いが、他の年代に比べて、18歳～29歳が低い傾向にある。

ただし、「④エネルギー消費の小さい建築物の普及」については、18歳～29歳が最も高い。

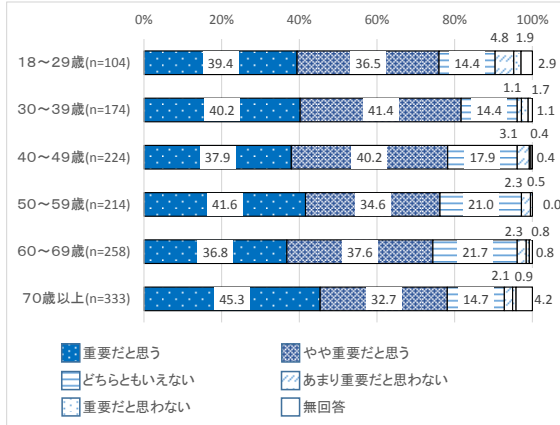
①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化



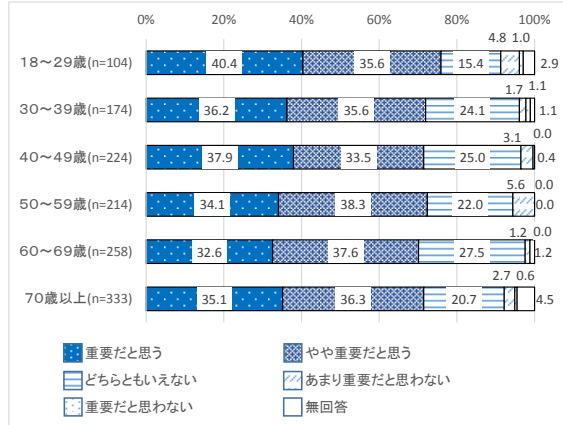
②公共交通機関や自転車など、環境にやさしい交通手段の利用促進



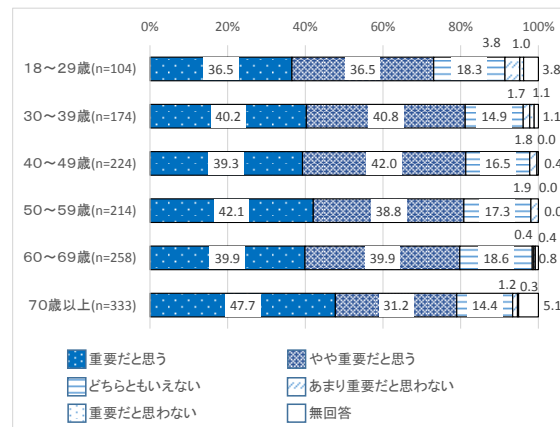
③太陽光発電など再生可能エネルギーの普及



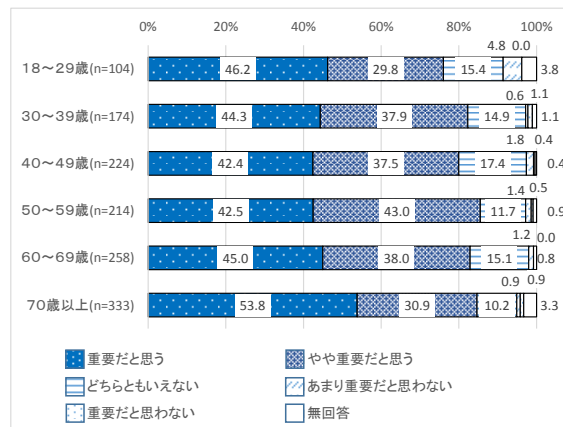
④エネルギー消費の小さい建築物の普及



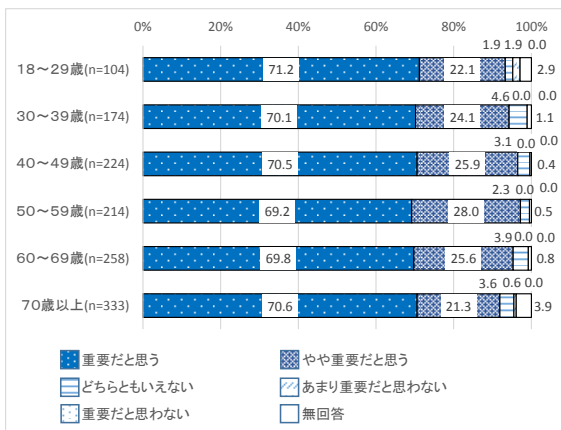
⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制を進める制度の導入



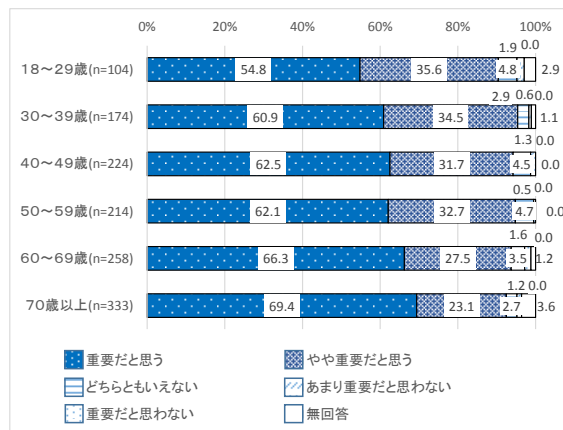
⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進



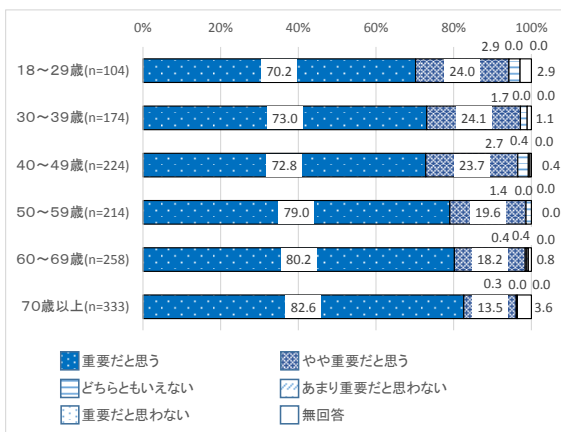
⑦ 二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理



⑧ 熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供



⑨ 保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策



3 過年度調査との比較

「杜の都環境プラン」の定量目標の進捗について評価を行うため、「仙台市の環境に関する満足度」及び「日常生活における環境配慮行動」について、基準となる2008年度の調査結果との比較を行った。

(1) 仙台市の環境に関する満足度について

【杜の都環境プランにおける定量目標】

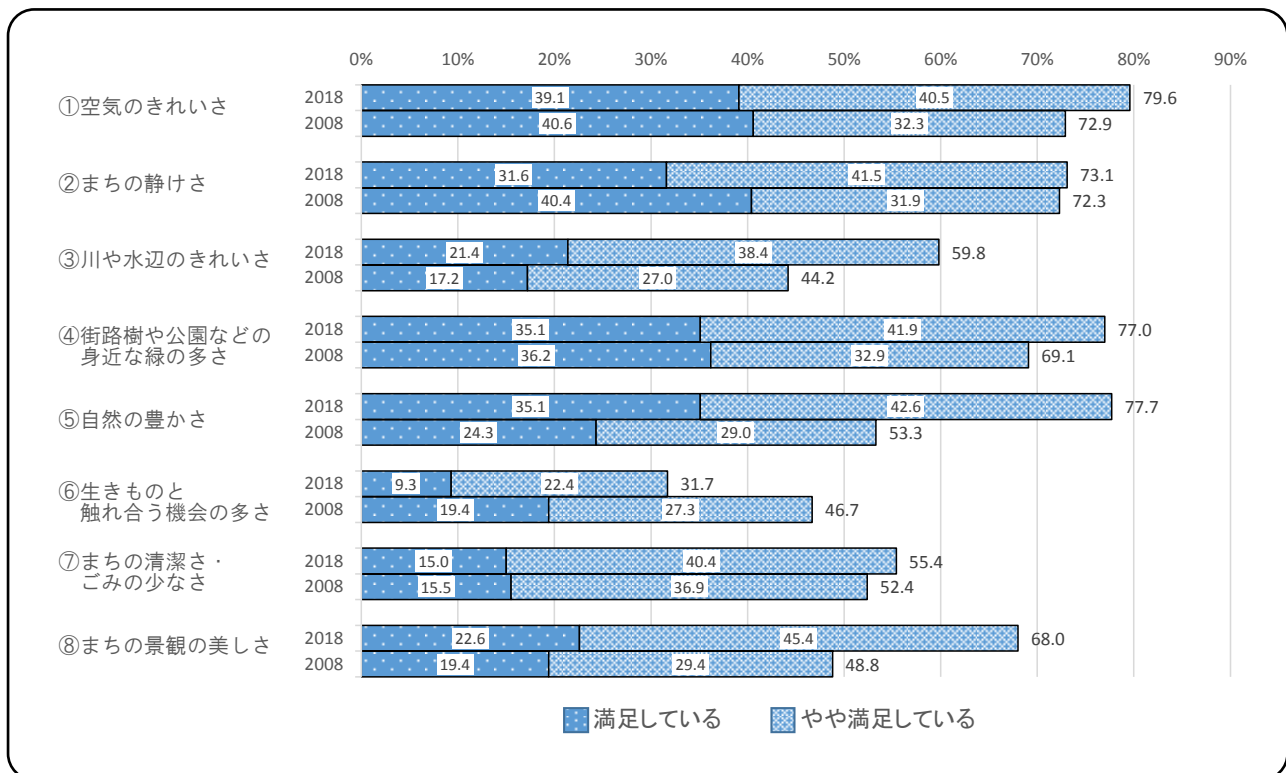
2020年度における市民の「環境に関する満足度」について、「満足している」と回答する人の割合を現在よりも向上させます

基準値（2008年度）：213.0%（8項目合計800%中の値）

仙台市の環境について「満足している」と回答した市民の割合は、8項目全体で209.2%となり、2008年度に比べて3.8ポイント低下した。

ただし、ほとんどの項目で、「満足している」又は「やや満足している」と回答した市民の割合は増加している。

項目別では、「川や水辺のきれいさ」、「自然の豊かさ」、「まちの景観の美しさ」の満足度が増加する一方、「生きものと触れ合う機会の多さ」の満足度が低下した。



(2) 日常生活における環境配慮行動について

【杜の都環境プランにおける定量目標】

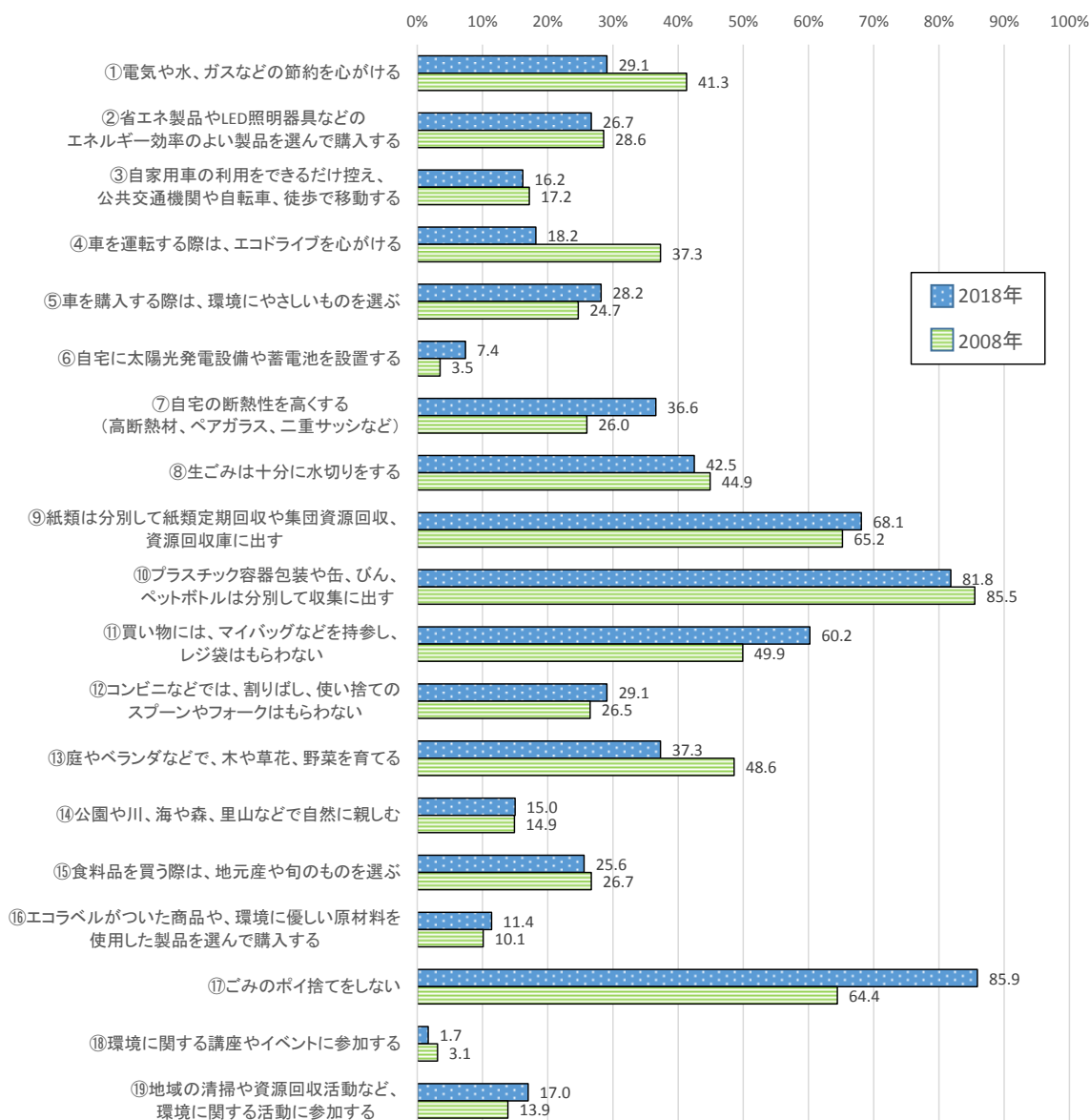
2020年度における、日常生活における環境配慮行動について、「常にしている」人の割合を現在よりも向上させます

基準値（2008年度）：632.3 %（19項目合計 1,900%中の値）

日常生活における環境配慮行動について、「常にしている」と回答した市民の割合は、19項目全体で638.0%となり、2008年度に比べて、5.7ポイント増加した。

項目別では、「⑦自宅の断熱性能を高くする」や「⑪買い物には、マイバックなどを持参し、レジ袋をもらわない」、「⑰ごみのポイ捨てをしない」が増加した。

一方、「①電気や水、ガスなどの節約を心がける」、「④車を運転する際には、エコドライブを心がける」、「庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる」が低下した。



IV 調査票

環境に関する市民意識調査へのご協力をお願い

～仙台市からのアンケート調査です～

1. 調査の趣旨

市民の皆さまには、日頃より仙台市の環境行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この調査は、仙台市民の皆さまが、仙台市の環境についてどのように感じているか、また環境に配慮した生活をどのように実践しているかなどを把握するため、無作為で抽出した満 18 歳以上の市民 3,000 人の方に、お送りしたものです。

調査の結果は、これまでの仙台市の取り組みの評価や、今後の環境行政を推進するにあたっての貴重な基礎資料とさせていただきます。

ご多忙中にご面倒をおかけしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2. ご回答上の注意事項

①この調査は、次のことについておたずねします。アンケートの所要時間は 5 分程度です。

- I. 仙台市の環境に関する満足度について
- II. 日常生活における環境配慮行動について
- III. 自然環境の保全について
- IV. 地球温暖化対策について
- V. 仙台市の環境行政へのご意見等について

②質問に従って、あてはまる番号に○印をつけてください。

③この調査の結果は、統計的に処理いたします。個人情報公表されることはありません。

④ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、平成 31 年 1 月 25 日（金）までにご投函ください。なお、切手を貼る必要はございません。

3. お問い合わせ先

本調査に関するご質問などは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】仙台市 環境局環境部 環境企画課 横田・今井
住所：仙台市青葉区二日町 6-12 二日町第二仮庁舎 5 階
電話：022-214-8218
FAX：022-214-0580





まず、あなたの性別、年齢などについておたずねします。

以下の各項目について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 18～29 歳 3. 40～49 歳 5. 60～69 歳	2. 30～39 歳 4. 50～59 歳 6. 70 歳以上
同居人の有無	1. 有り	2. 無し
仙台市における 居住期間	1. 1 年未満 3. 10 年以上 20 年未満	2. 1 年以上 10 年未満 4. 20 年以上
※一度市外に転出して、仙台に戻られた方や、市内で引越した方は、通算の年数をお答えください。		

I. 仙台市の環境に関する満足度についておたずねします。

問 1. あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。
以下の各項目について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	満足して いる	やや満足 している	どちらとも いえない	やや不満だ	不満だ
①空気のきれいさ	1	2	3	4	5
②まちの静けさ	1	2	3	4	5
③川や水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
④街路樹や公園などの 身近な緑の多さ	1	2	3	4	5
⑤自然の豊かさ	1	2	3	4	5
⑥生きものと触れ合う機会の多さ	1	2	3	4	5
⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ	1	2	3	4	5
⑧まちの景観の美しさ	1	2	3	4	5

II. 日常生活における環境配慮行動について、おたずねします。

問2. あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。

次の各行動について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

*そもそも、その行動ができない場合は、「該当しない」に○印をつけてください。

例えば、次の場合が該当します。

例1)「④車を運転する際は…」について、車を運転しない方の場合

例2)「⑧自宅の断熱性を高くする」について、自宅が持ち家ではない方の場合 など

(1) 地球温暖化防止に配慮した行動について

(家庭内や外出先での行動)

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当 しない
①電気や水、ガスなどの節約を 心がける	1	2	3	4	5
②省エネ製品やLED照明器具など のエネルギー効率のよい製品を 選んで購入する	1	2	3	4	5
③自家用車の利用をできるだけ控 え、公共交通機関や自転車、徒歩 で移動する	1	2	3	4	5
④車を運転する際は、エコドライブ を心がける	1	2	3	4	5
⑤宅配便は、受け取る日時を指定す るなど、再配達とならないよう気 を付ける	1	2	3	4	5

(車の購入や住まいに関する行動)

	既にしている	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当しない
①車を購入する際は、環境にやさ しいものを選ぶ	1	2	3	4
②自宅に太陽光発電設備や蓄電池 を設置する	1	2	3	4
③自宅の断熱性を高くする (高断熱材、ペアガラス、二重サ ッシなど)	1	2	3	4
④再生可能エネルギーの比率が高い 電力会社から、電気を購入する	1	2	3	4



(2) ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動について

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当 しない
①生ごみは十分に水切りをする	1	2	3	4	5
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める	1	2	3	4	5
③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す	1	2	3	4	5
④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す	1	2	3	4	5
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す	1	2	3	4	5
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない	1	2	3	4	5
⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない	1	2	3	4	5
⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する	1	2	3	4	5
⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する	1	2	3	4	5

(3) 自然環境の保全に配慮した行動について

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当 しない
①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる	1	2	3	4	5
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ	1	2	3	4	5
③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ	1	2	3	4	5
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する	1	2	3	4	5
⑤ごみのポイ捨てをしない	1	2	3	4	5
⑥環境に関する講座やイベントに参加する	1	2	3	4	5
⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する	1	2	3	4	5





III. 自然環境の保全について、おたずねします。

問3. 仙台市は、市域全体の約8割が緑に覆われるなど、豊かな自然環境に恵まれ、多様な生きものが生息しています。

あなたは、自然環境の保全に関心がありますか。
あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 大変関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない

問4. 人間も含め、地球上の様々な生きものが、お互いつながり支え合いながら生きていることを「生物多様性」と言います。近年、メダカやトンボなど身近な生きものが減少するなど、生物多様性の低下が問題となっています。

生物多様性を保全するため、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	重要だと思ふ	やや重要だと思ふ	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	重要だと思わない
①多様な生きものが生息する自然環境の保全	1	2	3	4	5
②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策	1	2	3	4	5
③生態系の保全につながる地産地消の推進	1	2	3	4	5
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進	1	2	3	4	5
⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実	1	2	3	4	5
⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援	1	2	3	4	5

IV. 地球温暖化対策について、おたずねします。

問5. 地球温暖化対策として、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を減らすとともに、温暖化によって引き起こされる猛暑や豪雨などへの対策が求められています。

仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	重要だと思ふ	やや重要だと思ふ	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	重要だと思わない
①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化	1	2	3	4	5
②公共交通機関や自転車など、環境にやさしい交通手段の利用促進	1	2	3	4	5
③太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及	1	2	3	4	5
④エネルギー消費の小さい建築物の普及	1	2	3	4	5
⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制を進める制度の導入	1	2	3	4	5
⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進	1	2	3	4	5
⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理	1	2	3	4	5
⑧熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供	1	2	3	4	5
⑨保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策	1	2	3	4	5



V. 仙台市の環境行政へのご意見等をおたずねします。

問6. 今後仙台市が取り組む環境施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	重要だと思 う	やや重要 だと思 う	どちらとも いえ ない	あまり 重要だ と思 わない	重要だ と思 わない
①地球温暖化対策の推進	1	2	3	4	5
②自然環境や生物多様性の保全、活用	1	2	3	4	5
③ごみの減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
④大気汚染や水質汚濁、騒音等への 対策	1	2	3	4	5
⑤環境教育・学習の推進	1	2	3	4	5

問7. 仙台市の環境行政に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

調査結果はとりまとめ次第、仙台市ホームページ上でお知らせします。



環境に関する中学生アンケートへのご協力をお願い

1. 調査の趣旨

この調査は、中学2年生の皆さんが、仙台市の環境についてどのように感じているか、また環境に配慮した生活をどのように実践し、今後の仙台市の環境についてどのように考えているかなどを把握するために実施するものです。

調査の結果は、これまでの仙台市の取り組みの評価や、今後の環境行政を推進するにあたっての貴重な基礎資料とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

2. 回答する上での注意事項

- ①この調査は、次のことについておたずねします。
 - I. 仙台市の環境に関する満足度について
 - II. 日常生活における環境配慮行動について
 - III. 環境学習について
 - IV. 仙台市の環境について
- ②質問の指示にしたがって、あてはまる番号に○印をつけてください。
- ③この調査は、あなた自身について、おたずねします。他の人と相談して答えないようにしてください。
- ④この調査の結果は、統計的に処理します。個人の情報が公表されることはありません。
- ⑤記入した調査票は、平成31年1月25日（金）までに担任の先生に提出してください。





I. 仙台市の環境に関する満足度についておたずねします。

問1. あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。
以下の項目のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満だ	不満だ
①空気のきれいさ	1	2	3	4	5
②まちの静けさ	1	2	3	4	5
③川や水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ	1	2	3	4	5
⑤自然の豊かさ	1	2	3	4	5
⑥生きものと触れ合う機会の多さ	1	2	3	4	5
⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ	1	2	3	4	5
⑧まちの景観の美しさ	1	2	3	4	5

II. 日常生活における環境配慮行動について、おたずねします。

問2. あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。

次の各行動について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う
①電気や水、ガスなどの節約を心がける	1	2	3	4
②食べ残しに注意するなど、食品ロス削減に努める	1	2	3	4
③紙類は分別している	1	2	3	4
④プラスチック容器包装や缶、びん、ペットボトルは分別している	1	2	3	4
⑤買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない	1	2	3	4
⑥コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない	1	2	3	4
⑦庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる	1	2	3	4
⑧公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ	1	2	3	4
⑨ごみのポイ捨てをしない	1	2	3	4
⑩環境に関する講座やイベントに参加する	1	2	3	4
⑪地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する	1	2	3	4



III. 環境学習について、おたずねします。

問3. あなたは、次の環境学習に興味がありますか。以下の学習それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	とても 興味がある	ある程度 興味がある	あまり 興味がない	まったく 興味がない
①自然体験や生きものの野外観察	1	2	3	4
②科学実験やものづくり体験を通じた環境学習	1	2	3	4
③映画やDVD鑑賞を通じた環境学習	1	2	3	4
④身近な環境問題について自分で調査・研究する環境学習	1	2	3	4
⑤清掃工場や発電所などの施設見学を通じた環境学習	1	2	3	4
⑥専門家から環境に関する最新情報を聞くなどの講座	1	2	3	4

IV. 仙台市の環境についてのご意見等をおたずねします。

問4. あなたは、将来、仙台市は環境面でどのようなまちになったら良いと思いますか。
次の各項目について、あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

	強く思う	やや思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない
①地球温暖化対策に積極的に取り組むまち	1	2	3	4	5
②自然が豊かで、多くの生きものが生息するまち	1	2	3	4	5
③ごみの減量・リサイクルが進んだまち	1	2	3	4	5
④水や空気がきれいで、静けさが保たれたまち	1	2	3	4	5
⑤市民が環境について積極的に学び環境のことを考えて行動するまち	1	2	3	4	5

問5. 仙台市の環境について考えていることがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。